

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ・地域医療の精神科分野を担い、良質な医療を提供する。
- ・在宅復帰を促進し、それを支えるための通所機能、在宅医療を強化する。

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができり明らかになるようご説明ください。

- ・一般病院や関係機関との積極的な連携から精神疾患の早期発見・早期治療を進める。
- ・在宅医療における精神科分野でのサポート、院内通所施設での医療提供。
- ・地域連携に基づき、関係機関における精神科身体合併症患者、認知症患者への精神科分野でのサポート。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできり明らかになるようにご説明ください。

- ・精神科入院患者の地域移行の推進。
- ・新病棟の建設により、療養環境を改善し、急性期治療機能を強化する。
- ・精神科デイケアの新設により、通所機能の強化と訪問看護を強化し、在宅における精神科医療を支える。

令和3年11月作成

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	(a) <H28年度>		<R3年度>		(b-a)	
	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	(R7/2025年度)	(H28年度からの増減)
一般病床	高度急性期					0
	急性期					0
	重症					0
	軽症					0
	回復期					0
療養病床	慢性期					0
	休養中					0
	(今後再開する予定)					0
療養病床	休養中					0
	(今後廃止する予定)					0
	(合計)			0	0	0
精神病床		222	222	166	222	0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能廃止等)について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は追加、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳腺	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能廃止等)について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能廃止等)について記入してください。	対応している	

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血(くも膜下出血を含む)への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
奈良県精神科救急医療システム整備事業に参画する輪番病院として対応する。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数＝床）  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ

（はいの場合 施設名称：  
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
現在、協力型臨床研修病院として大和高田市立病院、近畿大学奈良病院、市立奈良病院からの初期臨床研修医を受入している。

⑮新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

発熱外来認定医療機関であるが、現状どおり、奈良県精神科救急医療システム整備事業の当番日のみの対応を継続する。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

地域の整形外科中核病院として急性期医療・救急医療の提供を維持してまいります

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

整形外科領域での医療提供

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

奈良県立医科大学附属病院と連携し、転院用の病床を院内に確保しております

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

## 吉本整形外科・外科病院

### 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度、(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7年度>	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a)
一般病床	高度急性期					
	急性期					
療養病床	重症	57	57	57	57	0
	軽症					0
療養病床	回復期					0
	慢性期					0
療養病床	休養中 (今後再開する予定)					0
	休養中 (今後廃止する予定)					0
	(合計)	57	57	57	57	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。  
(注1) 最大使用病床数  
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳腺	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等) について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等) について記入してください。		

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血 (くも膜下出血を含む) への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加	参加している	参加していない
今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等) について記入してください。		

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

今後も地域の整形外科中核病院として急性期医療・救急医療の提供を維持してまいります。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数＝床）  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

患者様に対し十分な医療サービスを提供するために理学療法士の拡充を随時行っております。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

患者様に対し十分な医療サービスを提供するために理学療法士の拡充を随時行っております。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- （はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

整形外科特化型病院の為、感染を持ち込まない運営を行っております。  
 クラスタで病院機能を止めることがないように感染対策をしております。  
 地域での感染拡大時には当院の診療領域に於いては断ることなく患者受入れ  
 出来る体制を整え運営してまいります。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ  対応していない
- ・分娩の取扱い  対応している  していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。



1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

地域における慢性期機能の役割を担っていきます。  
急性期・回復期との連携をとり、かつ地域の施設・在宅とも連携しながら慢性期の医療必要度の高い患者様を受け入れていきます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにしながらご説明ください。

地域の医療機関との連携を行うとともに介護予防を通じ、地域の慢性期医療の役割を担っていきます。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにしながらご説明ください。

地域医療機関との連携をより充実するとともに地域の住民の方々とも多角的に連携し予防医療、介護予防を行う。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

## 医療法人弘生会関屋病院

### 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7/2025年度>		(b-a) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(R7/2025年度)	(R7/2025年度)	
一般病床							0
重症急性期							0
重症急性期							0
回復期							0
慢性期		350	350	302			-10
休養中 (今後再開する予定)					340		0
休養中 (今後廃止する予定)							0
(合計)		350	350	302	340		-10
精神科床							0
介護医療院							0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

※連携については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	対応している	対応していない
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- 病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数＝床）  無し
- 訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- 通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 在宅療養支援病棟の届出の有無  有り  無し
- 在宅療養後方支援病棟の届出の有無  有り  無し
- 訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

訪問リハビリについてはR4年1月より開始を予定しており、準備を進めている。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ

（はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩産産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自院院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について当院では、これまで、主に整形外科の慢性疾患の診療を担ってきたが、現在、循環器内科や脳神経外科、等、脈管系疾患の急性期対応にも力を入れている。香芝市に関しては、将来予測において、奈良県でも、従来から、人口減少率が低い地域の一つで、加えて近年、若い世代が大阪府から移住してきており、それに伴い産科や小児科等の周産期に携わる診療科が不足しており、又、急性期病床も他の市町村に比べ、少ないと思われ、随卒中等に対する高度急性期医療体制も脆弱と考える。従って、医療圏を超えての、地域医療構想で県全体としての病床数、及び病床機能の再構築が望まれる。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について  
※地域において貴院が担わない又は細小する役割・機能ができかざり明らかになるようご説明ください。  
 香芝市では急性期を担う医療機関が2病院を合わせても340床と人口割合に比し、非常に少ない。また標榜しているもの、各病院とも常勤医師数的にも、24時間体制においても、実際上の充足は（当院の様に開設診療科が少ない施設もあり）各病院毎に体制を築いたとしても覚束ない状況にある、その為には香芝市を含む、中和医療圏全体での輪番体制を敷く等の必要があると思われ、当院も積極的にその一角に参画したいと考えている。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について  
※複数病院間の連携協定など具体的な原組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかざり明らかにするようにご説明ください。  
 当院はもとより、香芝生喜病院・西和医療センター等、奈良県の北西部に跨って医療圏を超えた医療連携に加え、関連法人も含めた病床の再構築を行い、且つ各医療機関の得意とする分野毎に分業態勢を探る形を立ち上げては如何かと考えている。ことに現在、脳神経（血管）外科領域の診療体制の拡充を現在、進めている処である。医療現場においては、主治医を担当するが故に労働時間上の制約が生まれることが、負担となっている現状がある。後述の複数の病院間で輪番時に相互の出向制を企画することで、'life work balance 対応し得ると思考する。

※行が足りない場合は適時、行を挿やしてください。種数表になっても結構です。

# 香芝旭ヶ丘病院

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7(2025年度)>		<(b-a)>	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(R7/2025年度)	100年度からの増減		
一般病床	高度急性期							
	重症	0	99		99		99	
	軽症	99	0		0		-99	
療養病床	回復期							
	慢性期							
介護病床	休養中 (今後再開する予定)							
	休養中 (今後廃止する予定)							
	(合計)	99	99		99		99	
精神病床								
介護医療院								

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 手術の実施 肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、生殖器、泌尿器、生殖器
  - 化学療法の実施 対応している 対応していない
  - 放射線治療の実施 対応している 対応していない
  - 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
現時点でも、脳神経外科領域においては、転移性脳腫瘍や神経系原発の悪性新生物を、外来診療や他科入院中に検出する事があり、集学的治療には小規模病院では対応しきれない為、奈良県立医科大学等高次施設への紹介・連携や陽子線治療等を行っている関連法人の高井病院へも対診するなど連携を重んじている。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している
  - 心疾患に対する外科手術の実施 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
他の医療機関とも連携しての24時間体制としたい。近い将来マンパワー的に態勢強化が果たせ次第、当院の比重を向上させたいと考えている。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
  - 脳動脈クリッピング術 対応している
  - 開頭血腫除去術 対応している
  - 脱出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している
  - 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している
  - 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している
  - 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

今夏より学会認定血管内診療指導医を加え、脳・脊髄血管内治療が可能な態勢を取  
るため、手術室及びCT、MRI増設を行う。治療機材の整備を併行に進めており、  
脳・脊髄血管内治療及び直達（開頭）手術が必要な症例は自院で対応する。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腸骨骨折への対応  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

病院郡輪番制を近々に予定している。具体的には急性期脳・脊髄血管障害の診療器  
材を充実し、低侵襲的な血管内手術を主軸とし、罹患者の日常生活復帰を企図した  
加療へのシフト目指している。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数＝床）  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

脳血管障害に関して、現在、理学・作業療法までは介入出来ているが、来春からは  
言語（嚥下）療法も導入予定としている。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
  - ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
  - ・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- （はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライ  
ン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する  
指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

診療において、医療者側と患者・家族側との間で疾病に対する知識・情報の共有が  
未成熟であり、平素から患者への知識の伝達・啓蒙に努めることで、有事の際の  
対応・受容が円滑になることが期待され、外来受診や地域啓発活動での双方の理  
解向上を企画している。

⑭へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

香芝市では若い世代が多いことから小児科診療に寄与したい。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

小児医療と同様、周産期医療にも寄与したい。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後診療体制の充実に従い、奈良県立医科大学附属病院を初め、隣県の基幹病院との連携も目指している。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。



## 1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

- (1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
- ・当院は中和医療圏における病床数 241 床の民間病院で、病床の内訳は高度急性期 10 床・急性期 136 床・回復期(地域包括ケア) 45 床・慢性期 50 床です。しかしながら、現在のコロナ禍において回復期 45 床をコロナ病床 12 床(33 床休床)へ転換して運用しています。
  - ・当院の最重点施策として、救急搬送受入は緊急手術を含めて、24 時間・365 日断らない病院を目指していますが、最近の病床使用状況は、急性期病床が満床近くになり、救急受入を断らざるを得ないこともある為、コロナ感染終息後には回復期病床を急性期病床へ転換することを検討しています。
  - ・小児医療については、引き続き一般外来、救急搬送受入及び入院加療の充実を図っています。
  - ・同一法人内の藤井会訪問看護ステーションと連携し、2021 年 11 月より香芝生喜病院として訪問看護(みなし)を行っています。2022 年 4 月より藤井会香芝訪問看護ステーションを立上げ予定していますが、今後は近隣在宅診療医を含めて、引き続き連携を図っていきます。

## (2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときは、あらかじめお知らせください。

- ・内科系高度急性期疾患(急性心筋梗塞、急性心不全、急性腹症)については、引き続き積極的に受入をしていきたい。
- ・外科系高度急性期疾患についても、これまで以上に積極的に受入していきたい。特に脳神経外科の救急受入は脳卒中(脳梗塞、脳出血)を含め、引き続き積極的に受入していきたい。
- ・耳鼻咽喉科、眼科においては、常勤医不在の為、他院へ役割を依頼します。

## (3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

- ・奈良県の胸痛・冠症候群ネットワーク、葛城地区の二次救急輪番制および中南和地区の小児科病院二次輪番制に参加させていただいており、引き続き当直帯も含めて、救急搬送の受入を出来る体制の維持が必要と考えています。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

# 香芝生喜病院

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来	
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	(R7/2025年度)	(t-a) H28年度からの増減
高度急性期	10	10	10	9	10	0
急性期			136	129	136	136
重症					45	-46
軽症	91				0	0
回復期			45	43	0	0
慢性期			50	48	50	0
休養中 (今後再開する予定)						0
休養中 (今後廃止する予定)						0
(合計)	151	241	241	229	241	90

精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数  
 ・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能廃止等）について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

手術の実施  肺、呼吸器  消化器  乳腺  泌尿器  生殖器  対応している  対応していない

化学療法の実施  対応している  対応していない

放射線治療の実施  対応している  対応していない

拠点病院等の指定  がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院：奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能廃止等）について記入してください。  
 ・最先端の手術機器を用いて消化器外科領域の手術に幅広く対応しており、特に大腸癌に対しては、十分な経験を積んだ医師による安全・低侵襲かつ正確・高度な腹腔鏡下手術を行っています。加えて、乳腺悪性腫瘍手術等にも対応しています。  
 また、悪性疾患に対する治療としては、手術以外に化学療法や緩和ケアに対しても対応しています。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  実施している  対応していない

心疾患に対する外科手術の実施  実施している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能廃止等）について記入してください。  
 常勤の循環器内科医師が5名在籍し、最新の血管撮影装置を有しており、緊急対応を含めて、質の高い心臓カテーテル検査及び治療を提供しています。  
 胸痛・冠症候群ネットワークにも参加させていただいています。  
 また、同一法人内の石切生喜病院と連携し、心疾患に対する外科手術にも対応しています。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  実施している  対応していない

脳動脈クリッピング術  実施している  対応していない

開頭血腫除去術  実施している  対応していない

脳出血（くも膜下出血を含む）への対応  実施している  対応していない

血栓除去術等の脳血管内手術  実施している  対応していない

脳血管疾患等への早期リハビリの実施  実施している  対応していない

・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

- ・日本脳卒中学会の一次脳卒中センターの認定を受けています。
- ・常勤の脳神経外科医が2名在籍し、最新の血管撮影装置を有しており、各種開頭手術及びカテーテル治療を行っています。

④ 救急医療

・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

・救急告示病棟の指定を受けているか？  はい  いいえ

・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない

・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない

・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

- ・常勤の救急担当医3名（内2名は救急科専門医）と他科医師および一部非常勤医師により、24時間365日の救急受入体制を構築しています。
- ・葛城地区病院群輪番制運営協議会に参加しています。
- ・中南和地区の小児科病院二次輪番体制に参加しています。

⑤ リハビリ

・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない

・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数=床）  無し

・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない

・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

- ・理学療法士11名、作業療法士5名、言語聴覚士4名が在籍し、早期より集中的にリハビリテーションを行っています。
- ・回復期病床45床（地域包括ケア病床）は、現在コロナ病床12床と休止病床33床として運用しており、コロナ感染終息後については急性期病床へ転換を予定しています。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

・在宅療養支援病棟の届出の有無  有り  無し

・在宅療養後方支援病棟の届出の有無  有り  無し

・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

- ・香芝市内の在宅療養支援診療所と連携し、往診医から在宅患者の緊急の入院要請に対し、積極的に救急受入を行っています。

⑦ 訪問看護

・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ

（はいの場合 施設名称：藤井会訪問看護ステーション）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

- ・同一法人内の藤井会訪問看護ステーションと連携し、2021年11月より香芝生喜病院として訪問看護（みなし）を行っており、2022年4月より藤井会香芝訪問看護ステーションを立上げ予定しています。
- ・藤井会香芝訪問看護ステーションの立上げに向け、より一層、香芝市内の在宅診療を行う開業医との連携を強化していきます。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえ、「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針I」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

- ・人生会議委員会を立上げて活動しており、2021年1月に厚労省のガイドライン等の内容を踏まえた「香芝生喜病院における適切な意思決定支援に関する指針」を定め、患者用冊子「もしものときのために」を作成し、患者さまへの配布により周知活動を行っています。

⑨ 小児医療

・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

・小児入院医療管理料の算定  している  していない

・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない

・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

- ・常勤の小児科医が6名在籍しており、朝・夜診察に加えて、小児アレルギー・ワクチン外来も実施しています。また、入院病床10床を小児専用病床として運用しています。（現在はコロナ対応の為、6床休止中）
- ・中南和地区の小児科病院二次輪番体制に参加しています。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

- ・2021年4月19日付けで、「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受け、2021年5月24日よりコロナ病床12床を開設し、受入を行っています。ピーク時は12床満床の運用をしてきました。
- ・その他、「新型コロナウイルス外来」「発熱外来」「北葛城地区PCR検査センター（2021年9月まで）」として患者の受入を行っています。
- ・加えて、奈良県や香芝市のコロナワクチン集団接種会場への医師派遣、奈良県軽症者宿泊施設への医師派遣を行っています。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  対応していない
  - ・分娩の取扱い  対応している  していない
  - ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。
- ・現在対応しておらず、当面対応予定はありません。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

- ・2020年8月に香芝市と「災害時における入院に関する協定書」を締結し、災害時には要介護者を優先して受入れる様になっている等、自院で対応可能な範囲で協力していきます。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。
- ・現在対応しておらず、当面対応予定はありません。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。
- ・現在、奈良県立医科大学の協力型臨床研修病院、大阪市立大学医学部付属病院の臨床研修協力施設となっており、一部研修医の受入を行っています。
  - ・来年度に基幹型臨床研修病院の指定に向けての申請を計画しています。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

◆施設の現状

○診療実績

・届出入院基本料

・患者数 (令和2年度実績) 外来：512,848人、入院：238,630人

(令和元年度実績) 外来：575,087人、入院：306,993人

・平均在院日数 (令和2年度実績) 11.03日 (除く精神科：10.06日)

(令和元年度実績) 12.69日 (除く精神科：11.37日)

○職員数 (令和3年10月1日現在)

・医師 800名 (臨床研修医含む)

・看護職員 1,131名

・医療技術職員 408名

・事務職員他 324名

○自施設の特徴

・高度急性期医療が中心

○自施設の担う政策医療

県内の5疾病6事業に関して、例えば以下のとおり中心的な役割を果たしている。

・がん 都道府県がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院

・脳卒中 脳卒中センターの設立 (平成29年10月)

・急性心筋梗塞 365日24時間緊急カテーテル受入

・救急医療 高度救命救急センター (3次救急)、ドクターヘリの運航

・災害時の医療 基幹災害拠点病院

・周産期の医療 県内唯一の総合周産期母子医療センター 等

◆施設の課題

・高度急性期・急性期医療に特化し、在院日数の短縮とさらなる逆紹介の推進が必

要

・医療需要の変化 (高齢化に伴う疾病の変化) への対応

・県内医療機関との役割分担とネットワーク構築

(紹介、逆紹介の推進によるスムーズな患者移動)

・経営改善 (設備投資等のコストが経営を圧迫。効率的な運営体制の確立が必要)

・医療従事者の働き方改革

・県内唯一の医育機関としての医療人育成

◆地域において今後担うべき役割

○5疾病6事業を含む、県内のあらゆる医療の高度急性期・急性期を担う

# 奈良県立医科大学附属病院

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和3年11月作成

○地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

- ・総合診療科に在宅医療部門を立ち上げて次世代指導者養成システムを構築
- ・在宅看護に関する看護師特定行為研修の実施により特定看護師を養成
- ・休日・夜間の在宅医療を地域全体で支える仕組みづくりのコーディネート
- ・地域中核病院との連携協定締結による積極的な患者転院の実施

○その他

- ・新専門医制度に対応した人材の育成
- ・地域医療機関との機能分担、連携、人的支援の推進

◆今後待つべき病床機能

- ・高度急性期病床及び急性期病床

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができればより明らかなようにご説明ください。

奈良県唯一の特定機能病院として、また奈良県における最終デフォフェンスラインとしての役割を担うべく高度急性期及び急性期に対応していく。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病名やその取組の内容をできるところより明らかなようにご説明ください。

地域の医療機関との紹介・逆紹介の推進

超高齢化の進展に伴う人口構造・疾病構造・医療需要の変化等、本地域における社会二一スズの急激な変化に対応し、健全な経営基盤のもと、患者さんに良質な医療サービスを提供するためには、地域完結型の医療体制を実現する必要がある。

そのためには、地域の医療機関の一層の機能分化と緊密連携が必須と考える。当院は、今後5年6年以内に、市民の最終デフォフェンスラインとしての役割を果たしていく。進医療の提供など、県民の最終デフォフェンスラインとしての役割を果たしていく。そして、急性期を脱した患者さんの医療を地域の医療機関の皆様に担っていただきたいと考えており、これまで以上に紹介・逆紹介や診療科毎のネットワーク構築を推進し、結果的に患者さんにとっても自宅の近隣の医療機関で受療できることで利便性の向上につながり、WIN-WIN-WINの関係を実現していきたいと考えている。

・具体的には、

1. 紹介患者が当院を初診受診した旨の紹介元への報告の徹底、紹介元以外へ逆紹介する際にも紹介元へ報告を行うなど、丁寧な情報提供に取り組んでいる。

当院は紹介患者の診療を基本としており、現在のところ、高い紹介率を維持しているが、紹介状をお持ちの患者さんが、診察の予約なしに来院されるケースも多数ある。

また、当院は特定機能病院として、高度で先進的な医療の提供、また、地域医療計

画においては高度・重症急性期患者の診療を役割としており、より多くの方にそういった医療を提供するために、スムーズな診療を行える初診予約を推進している。当院では、緊急患者や予約患者を優先的に診察せざるを得ないことから、紹介状はお持ちであっても診察の予約をされずに受診される場合、相当な待ち時間となり、結果的に大変な負担をおかけすることになる。

さらに、予約のない患者さんの診察を行うことにより、予約患者の診察時間の遅れや医師の診療計画への影響など、病院全体の運営や医師の働き方改革にも逆行することにつながる。

初診予約の推進のため、令和元年度からは連携登録医からの紹介患者からの直接予約を可能とし、従来のFAXやオンライン予約システムの活用とあわせ、当院受診の際は必ず事前予約をとっていただくよう各医療機関には地域医療連携室だより等を活用して呼びかけを行っている。

当院に課せられた役割を果たし、能力を十分に発揮することができるよう、完全予約制の実現を目標に、今後引き続き専断予約制度の推進に取り組んでいく。

2. 急激な高齢化社会の到来をふまえ、地域包括ケアシステムの構築が急務となる中、当院と各中核病院は、互いのメリットを活かし、連携を強化していく必要がある。また、相互の紹介・逆紹介をスムーズに行うため、各医療機関の特性を生かした機能性のある「診療科別の病病連携ネットワーク構築」に取り組み、医療圏内全体で患者二一スズに応じた質の高い医療の提供を実現していく必要がある。

そのための施策として、各機関の実務者間の情報共有と協議の場を、これまで以上に積極的に提供していきたいと考えている。

退院や転院の調整においては、当院における治療が完了した後も退院できず、待機患者の受け入れに支障となるケースがある。同居老人や生活困窮者といった社会的問題を抱える患者について、地域の各施設の役割や機能に応じた受け入れがスムーズに行われるシステムの構築に向け、県全体で検討する必要がある。

そして、誰もが必要な時に適切な場所で最良の医療を受けられ、治療後はスムーズに安心して生活の場に戻れるよう、保健・医療・福祉・介護の機動的な連携が必要であり、当院はその中心的な役割を果たしていく責任があると考えており、特に在宅医療を担う医療機関を診療面、人員面等様々な面でサポート・支援を行うために、令和4年度に奈良大在宅医療支援センターを立ち上げ、在宅医療を担う人材育成、在宅医療分野における課題の分析、研究を行い、在宅医療の視野の拡大をしていきたいと考えている。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	
一般病床	高度急性期	460	423	398	-37
	急性期	322	377	360	55
療養病床	軽症	67	66	66	-1
	回復期	0	0	0	0
療養病床	慢性期	0	0	0	0
	休養中 (今後再開する予定)	26	9	9	-17
	休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0
	(合計)	875	875	875	0
精神病床		108	108	108	0
介護医療院		0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？

手術の実施	はい	いいえ
化学療法の実施	消化器 対応している	泌尿器、生殖器 対応していない
放射線治療の実施	呼吸器 対応している	乳癌 対応していない
拠点病院等の指定		

がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院 奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
当院は、がん診療連携拠点病院の指定を受け、県内のがん診療に関する中核的な役割を担っているが、奈良県のがん患者の受療動向によれば、がん患者の13-15%が県外の医療機関に入院/転院している状況であり、県内でのがん診療が完結できていない状況である。その為、がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院等に於いては、高度な手術療法・放射線治療・化学療法の実施を図る必要がある。その為に積極的に進めていく。また、拠点病院の医師とかかりつけ医師との地域連携体制を強化し、切れ目のない医療提供を実践していく。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	はい	いいえ
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
	対応している	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
当院は奈良県、特に中・南和地域において循環器救急疾患に対する急性期中核病院としての役割を担っている。

対象となる疾患は急性心筋梗塞、うっ血性心不全、急性大動脈解離、急性肺血栓塞栓症、急性心筋炎など多岐にわたる。当院ではこれら循環器救急疾患に対して診療所や地域の一般病院などからの紹介、救急隊からの要請に対してCCUへの直通電話を通じて24時間体制で対応し最良の急性期医療が提供できるように努めている。特に急性心筋梗塞に対しては夜間でも緊急PCI（経皮的冠動脈インターベンション）が行えるようにACS（急性冠症候群）オンコールチームを結成し看護師、放射線技師、臨床工学士との協力のものと患者さんが来院してから速やかにPCIが提供できるようなシステムを院内で整えている。また、奈良県全体においても当院を含む循環器救急指定病院9病院により作成した胸痛搬送ルールにより胸痛患者さんに対して速やかに急性期医療が提供できるようなシステムを構築している。当院や各関連病院スタッフの努力により、奈良県の急性心筋梗塞死亡率の全国順位（低い順）

は第4位という全国でもトップレベルの水準へ改善している。  
 今後は、急性心筋梗塞をはじめとした循環器救急疾患に対する救急要請に対して引き継ぎ多くの患者さんを収容できるように努めていきたいが、そのためにも病床稼働率の改善が必要である。当院での急性期医療が終了後に早期に自宅へ退院できない患者さんをスムーズに転院できるような回復期リハビリテーション病院との連携を構築していきたい。また、循環器救急疾患に対しては退院後に再発を予防するための生活習慣の改善や適切な薬物療法の調整が必要である。このため、退院後のかかりつけ医となる医療機関とのシームレスな地域医療連携システムを作成していきたい。

最後に日本は世界に類をみない超高齢社会を迎えており、奈良県も例外ではない。そのため、循環器救急疾患に対する需要は今後益々増えていくと思われる、したがって循環器疾患に関わる医師の増員が必要であると考える。

③ 脳卒中

・当該領域について対応しているか？

・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

脳動脈クリッピング術	対応している	はい	いいえ	対応していない
開頭血腫除去術	対応している			対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している			対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している			対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している			対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加	参加している			参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携強化や連携、機能強化）について記入してください。

当院においては、脳卒中の急性期医療において、中南部地域の拠点病院として機能している。昨年度、全国的に一次脳卒中センター（PSC）が整備され、奈良県では13施設が認定されている。奈良県の二次医療圏別では、(1)奈良医療圏4施設、(2)西和医療圏3施設、(3)東和医療圏3施設、(4)中和医療圏2施設、(5)南和医療圏1施設が認定されており、一応の均てん化がなされている。

今後は、これらの脳卒中センターが地域の施設とも連携をとりながら脳卒中診療にあたることになるが、高齢化に伴い脳梗塞患者が増え、脳卒中の急性期治療数が急増しているため、対応する人員の育成及び人員確保を進めていく。

また、2019年12月の「脳卒中・循環器病対策基本法」の施行に基づき、各県における「循環器病対策推進基本計画」の策定が求められている。奈良県においても同様で、本学からは脳神経内科、循環器内科、脳神経内科の代表が参加する「奈良県脳卒中・循環器病医療連携会」が設立され、県の担当部署である医療政策局とともに、策定に向けて準備をしている。既に本学からは奈良県口ジックモデルを作成し、県に提案している段階である。本策定を運用することで、奈良県における脳卒中診療の円滑な連携が行えるよう、より充実した体制構築を目指していく。

④ 救急医療

・当該領域について対応しているか？

・救急告示病院の指定を受けているか？

・大腿骨骨折への対応

・病院群輪番制への参加

・小児科病院二次輪番体制への参加

・小児科病院二次輪番体制への参加

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携強化や連携、機能強化）について記入してください。

当院は県内唯一の高度救命救急センターを有し、また救急搬送における病院照会回数を3回以内に抑えるべく、土日祝日のERを運営しており、2022年度からは24時間365日のERを運用する。県内の重症症例については受け入れのみではなく、ドクターカーやドクターヘリを駆使して現場から救急医療を開始する体制を取っており、ERについては中南部地域の救急搬送の病院照会回数の減少に貢献し、ある一定の成果を達成してきた。今後人口は減少傾向にあるものの、高齢者の増加によって重症患者や搬送先に難渋する症例は引き続き増加することが予想されるため、現状の取り組みを継続していく。一方で、人口減少によって当院を含む大規模病院にかかると負担が大きくなることを考えられる。救急医療においても同様であり、多数の重症症例、特に外傷やER搬送例の増加に対応できる体制整備が求められる。このために救急医療に対応できる人材の育成、重症外傷症例の集約化と、後方医療連携を視野に入れた円滑な病床運用が必須と考える。このため以下の3項目を達成すべき項目として挙げる。

1) 県内で活躍する救急科専門医数3人/年の育成

今年度を含めて令和7年までに15名の救急科専門医を育成する。

2) 県内重症外傷症例の集約化

県内の重症例、特に重症外傷の救命には外傷に精通した医師が24時間対応できる体制が必要となる。このため、県内での重症外傷に特化した機能を指す。具体的にはInjury Severity Score 16点以上の外傷症例のうち、頭部、体幹および四肢骨盤への緊急手術を要する症例を全て受け入れる体制を構築する。

3) 円滑な病床運営を目的とした地域連携の指標化（転院調整開始から10日以内の転院）

「断らない救急」を達成すべく日々救急応需に対応しているが、出口問題に難渋している。具体的な数値目標を設定し、円滑な救急医療を目指す。

⑤ リハビリ

・当該領域について対応しているか？

・脳卒中循環器病への早期リハビリ

・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

・訪問リハビリの実施

・通所リハビリの実施

はい

対応している

有り（病床数＝

対応している

対応している

いいえ

対応していない

無し

対応していない

対応していない



今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

現在当院リハビリテーション科においては当院で治療するがん、心血管疾患、脳卒中などすべての領域の急性期疾患に対応し、早期からの（がん）予定手術においては術前訓練を含む）リハビリテーション治療を実施している。

回復期リハビリテーション治療については県内の回復期リハビリテーション病院と密接に連携し、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションを含め医師（主科主治医、リハビリテーション科医）およびリハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、リハビリテーション科看護師、ソーシャルワーカー）間の情報共有を図り円滑な転院と制度運用を支援している。

今後も一層、当院の特定機能病院としての特性を生かした高度、超急性期の病態に特化したリハビリテーション治療体制を充実させ、さらに入院支援センターとの連携を強化して回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟・療養病棟への転院を促進していく。

- ⑥在宅医療
- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
  - ・在宅療養支援病棟の届出の有無 無し 無し
  - ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 有り
  - ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院では現状在宅医療を行っていないが、厚生労働省は「2019年度病床機能報告」においても、地域医療構想の実現に向け医療機関の機能分化、連携が必要であり、在宅医療の整備が喫緊の課題と指摘している。全国で30万の在宅医療を提供する仕組みが必要とのことで、奈良県ではおよそ3000人に在宅医療を提供する仕組みが必要と考えられる。奈良県内でこの数字を達成するには多くの開業医の先生方に在宅医療を新たに始めてもらう必要がある。その開業医の先生方にとって、何が在宅医療を始めるとを妨げるのか、調査のために奈良県医師会においてアンケートが実施された。調査結果（H30年度）において、在宅医療に取り組まない主な理由（回答数 計313）1位「時間的制約がきつくて体力、気力的に続ける自信がない（51%）」2位「自分の専門以外の疾病に対応する自信がない（17%）」との結果であったので、これらの問題点に対して、在宅診療を開始しやすいように、奈良県大をはじめとする病院群（奈良県大、平成記念病院、高田市立病院、済生会中和病院）で支援していく計画を立てた。そのための医療機関連携を推進するため、2018年より中和在宅診療研究会を上記4病院を主体として立ち上げ、訪問看護師やケアマネジャーや薬剤師などにも参加してもらい、意見交換や勉強会を行ってきた。そして2022年度にそのシステムの管理部門として在宅医療支援センターを奈良県大に設置する予定である。

在宅医療支援センターでは開業医の時間的制約を緩和するために、「休日夜間の支

援」、すなわち地域の開業医の代わりに休日夜間などの在宅診療を必要に応じて肩代わりすることを旨とする。また、各臓器別専門科の医師でワーキンググループを作り、「専門外の診療に関する相談窓口」となり、専門外の診療に対して支援していく予定である。

これらを計画的に行っていくことにより、奈良県内における在宅医療の裾野拡大に寄与していきたいと考えている。

- ⑦訪問看護
- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：  
）
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院は、特定機能病院として高度急性期医療を担っているため、当院自ら訪問看護を実施していくことは考えていないが、当院に所属する多くの専門的知識・技術を持つ看護師（専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了看護師など）の経験や知識を地域に還元し、医療依存度の高い患者に適切な在宅療養環境を提供するため、訪問看護ステーション等との連携を強化し、訪問看護師の介入に対して支援できる体制を構築していく。

また、県内の訪問看護の充実にあたっては、その役割を担う人材の育成が重要と考えており、本学の看護学科と共同して、在宅看護人材育成特別プログラムを実施している。引き続き、よりレベルの高い訪問看護を担う若手人材を育成するため、プログラムの充実を図っていく。

上記のことを継続実行していくとともに、訪問看護ステーション等との更なる連携強化を図り、入院から在宅（外来通院）へと療養環境が変わっても、患者さんが安心して暮らせるための支援体制の構築を進めていく。

- ⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組
- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院では、緩和ケアセンター、がん相談支援センターを設置し、主にがんと診断された患者さん、がん治療中の患者さん等に対して、体のこと、心のこと、家族や仕事のことなど患者さんが持つ様々な悩みや心配事について、患者さん・ご家族・医療者の間で、患者さんの意向や大切にしていることを常に話し合っている。また、将来病気が進行し、人生の最期に差し掛かった時、どこでどのように過ごしたいのか、してほしい治療・ケアは何なのか、あるいははしてほしくないものは何なのか。

などを、患者さんがご家族、医療者と話し合いを行い、一緒に考え、患者さんにとってより良い終末期を迎えられるように取り組んでいる。

今後については、医療者の間でもACPに対する理解が十分ではない点を踏まえ、院内での講演会や研修会の開催、厚生労働省が開催している研修会（E-FIELD）への参加を通して、広くACPへの理解を深めてもらうために周知・伝達していきたいと考えている。

また、院内において多職種連携チームでカンファレンスを実施し、患者さんの意向を大事にしなが、より良い治療方針を考えていくことを重視して取り組んでいる。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

奈良県の小児医療における現在の当院の役割としては、各疾患領域分野に対する高度医療、小児救急医療における最終防衛ラインとしての救急医療（特に3次救急）、母子周産期医療における新生児集中管理治療の役割を果たしている。県内の小児医療は県内で完結することを目指し、各疾患領域別において各病院との診療連携ネットワーク体制の構築を当院が中心となり行っている。

今後については、重点的疾患領域である小児がん、心疾患、神経疾患、腎疾患、免疫疾患、内分泌代謝疾患、集中治療をはじめとする高度専門技術を要する疾患領域において県内の拠点病院となり、高水準医療の維持、専門医師の育成、各領域の間マンパワー充足を図っていく。また、各科との密な連携、そして現在小児医療で問題となっている内科への円滑なトランジションを積極的に取り組んでいく。新生児NICU医療においても、高水準の周産期母子センター機能を十分に維持して継続できる将来を見据えた奈良県NICU構想をもって取り組んでいく。また、小児の健やかな発達育、障害児医療、虐待防止のために、保健行政の県内の取り組みと医療体制作り（県内小児構想）も積極的に進めていく。当院の小児科の軸である血栓止血領域での医療においては、引き続き専門拠点施設となる研究力と診療力を示し、全国の拠点病院として維持し続けていく。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院の周産期医療においては、専攻医の確保と育成、周産期・新生児医学会などサブスペシャリティ専門医の育成、ハイリスク妊娠の管理、県内分娩取り扱施設との連携といったことを中心に取り組んでいる。

また、総合周産期母子医療センターでは、超早期の分娩や各種疾患を出生前診断されたハイリスク妊婦や多胎児、ならびにハイリスク妊娠から出生した児を中心とする新生児の診療に取り組む、奈良県の周産期医療の中核病院として、奈良県総合医療センターや近畿大学奈良病院と連携して奈良県の周産期医療の向上に取り組んでいる。診療面においては、先天性心疾患の外科的治療を行う小児心臓血管外科医を配置し、小児外科、眼科、整形外科、耳鼻咽喉科などにも、新生児・小児を専門とする医師が常勤医として勤務していることで、高度な総合周産期医療を提供できる環境を整えている。

今後については、日本全体の少子高齢化が進む中、出生数も減少が予想され、周産期医療全体の需要は減少すると考えられるが、奈良県全体の母体搬送と新生児搬送については、2011年と2019年を比較しても大きな減少は見られず（2011年母体搬送275件、新生児搬送147件→2019年母体搬送262件、新生児搬送146件）、重症の妊娠母体や新生児の治療成績の向上に伴う重症例の治療成績の向上や不妊治療の影響が想定されることから、将来的には若干の減少はあるが、その減少は小幅に留まると考えられる。その一方で、高度の医療を必要とする妊娠母体や新生児の比率が高くなることが推定され、奈良県全体として周産期医療の集約化の必要性が突出すると考えられる。

これらのことから、周産期医療の維持及び安定的な発展のためには、専攻医の確保及び産科婦人科学会専門医のみならずサブスペシャリティである周産期・新生児医学会専門医の育成が特に重要であり、これらの専門医が本領域の指導者として県内の周産期医療を支えていかなければならない。

また、ハイリスク妊娠を適切に管理し、質の高い医療が提供できるように人員の配置し、カンファレンス等の充実を図る必要がある。また、これらを充実していく中で、医師の肉体的、精神的な負担を考慮し、医師が疲弊しない体制を構築し、維持していく。また、県内の他施設からの転院をよりスムーズに受け入れることができるよう院内及び県内医療機関との連携体制のさらなる充実化を図っていくよう取り組んでいく。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

現在当院は、災害拠点病院の基幹病院となっており、災害時には奈良県全体の病院や診療所などの人的物的被害状況を把握し、人的被害が最小となるように災害拠点病院を指揮し、情報を県の災害対策本部に伝えていくことが必要である。

そのためにまず当院の災害時対応の整備を図っている。まずは、災害時において、当院の人、物品（備品）、規則、情報管理の4点の把握および整備に取り組んでいる。人については、職員の把握にEmergency callを用い、患者の把握にはBC portalを使用する予定である。物品としては、水、電気、食料はそれぞれ3日分の備蓄を行い、それぞれ福原市、石油商業組合、弘済会と優先供給の契約を結んでいる。施設の状況把握に関してもBC portalを利用する予定である。規則としてはBCPのマニュアル、アクションカードを制定し、各人の災害時の動きを想像できるようにした。情報管理の方法についてもBC portalを用い行う予定である。しかしながら、ネットなどが動かない時の情報管理の方法にはさらなる検討が必要である。同様に、周囲の病院の情報、人や備品に関してはEMISより情報を得ることを考えているが、得られない時の情報採取の方法にはDMATなどを理由するなど、その方法を検討する必要がある。また、患者の受け入れや透析患者の情報やとりどりのようにするの、各病院は情報当院に伝えるという階層状態も把握していないとおおさらである。また、当院から上位組織である県の対策本部への情報をどのように伝えるかなど、当院以外との情報のやり取りの方法や決まりを制定していく必要がある。

そのためには、奈良県、各医療機関との連携体制構築及び情報の共有化、伝達方法の共有化等を検討し、今後取り組んでいかなければならないと考える。

⑩へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院は奈良県の医療の最後の砦として、高度先進医療や救急医療などを担当しているが、へき地医療に関しては拠点病院に指定されており、病院全体としての対応は必要ないと考える。実際、奈良医大の存在する中和地区にはへき地は存在せず、奈良のへき地医療拠点病院としては奈良県総合医療センター、南奈良総合医療センター、市立奈良病院が指定されており、へき地医療の支援はこれらの病院の活動に期待したいところである。

ただし、南和地区については南奈良総合医療センターが対応するべきと考え、東和地区は医師が極端に少なく、へき地医療を担当すべき宇陀市立病院の医療体制は脆弱であり、当院各料よりの支援が必要と考える。ひとりのへき地診療所医師がいくら頑張っても、その方がその地域を離れたら、病気になるたりすると、その地域の保健医療は崩壊してしまうので、複数の医師によるへき地診療所運営が必要と考える。実際、当院総合診療科より旧室生村診療所に派遣すべく宇陀市立病

院と宇陀市へ医師を派遣し、日替わりへき地診療をカバーしている。また、現在往診バス（レントゲンやエコーを装備）を宇陀市と共同で計画中であり、来年度には往診バスを動かすことにより東和地区のへき地診療をカバーしていきたいと考える。

- ⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）  
・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院においては、地域医療を維持するために必要となる初期臨床研修医の確保し、高い初期研修医充足率を維持することを目指している。

専門医の育成に関しては、専門医取得後の医師を地域に定着させることが重要であるため、診療科別、基幹施設別に運用されている専門医養成システムを横断的に見据えることができるよう、県内で最も多くの診療科で専門医制度を運営する当院において、診療科・施設横断的な情報共有体（協議会など）の運営に奈良県と協力して取り組む。

県費奨学生医師の適正配置については、県費奨学生医師が離脱することなく定められた義務を果たして地域医療を維持できなくなっていくことを継続的に取り組んでいく。医大医師などを配置するシステムを構築していく。特に、初期臨床研修医の安定した確保及び県費奨学生医師の適正配置に関しては、今後重点を置いて取り組む予定である。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院は第一種および第二種感染症指定医療機関として、指定の感染症患者の診療を行っている。同時に県内唯一の特定機能病院でもあるため、感染が拡大した場合は上記感染症患者の中でも他院で受け入れ困難な重症患者や特殊は患者背景を有する患者の診療を優先して行う。

そのために、感染症診療あるいは感染管理の専門性を有する人材（医師や看護師に限らず薬剤師や検査技師なども含む）を育成していき、育成した人材が院内に限らず、奈良県内の他の医療機関や福祉施設における感染管理の教育を行い、相談に応じ、必要に応じてこれらの施設に派遣し、従事させていくことも考えている。

地域医療構想においては、薬剤耐性菌感染症と抗菌薬適正使用が大きな課題になると考えられる。この課題についても地域の医療機関や福祉施設と連携できる体制を整備し、必要な人材を育成していく。

## 1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- 急性期<重症急性期>(180床)回復期(120床)内訳 回復期リハビリ病  
床9.0床・地域包括ケア病床30床)を維持・運営します。
- 当院の特色である救急医療(2.5次迄を対応する)については、圏域外受入も  
含め今後も対応します。さらに中和医療圏における重症腹症ネットワークグループ  
と協議し受入日を増やしていくよう調整いたします。
- 重症部屋の整備は完了し、今後はHCU(High Care Unit)として、現在対応して  
いる脳梗塞I-PA療法などの24時間対応を含め、救急医療の更なる強化の為、運用  
の準備を進めています。しかし、特に医師を中心とした人員の整備等が最重要課題  
であり、奈良医大などと調整を進めています。
- 機能別の病床数の在り方として病床数は同様ですがさらに内容を充実させた重症急  
性期180床(高度急性期:10床、重症急性期:170床)での急性期医療を行い  
「断らない病院」を目指します。
- 高度急性期及び急性期など他院からの受入を促進するためには、現状の回復期  
リハ病床(90床)並びに地域包括ケア病床(30床)の回復期病床120床の維  
持は必須となります。但し、奈良医大をはじめ周辺の医療状況の変化により状況が  
変われば重症急性期30床を地域包括ケアに転換する事も計画の一環として検討中  
です。従って総病床数は300床を現状維持とします。
- 現在の消化器内視鏡センターを拡張し機能を強化しましたが、更に独立した内  
視鏡センターを建設中です。このことにより現在実施している内視鏡治療(上部・  
下部)の拡大、充実を目指すのみならず、地域住民の健康維持のため疾患の早期発  
見・早期治療を推進して行きます。
- かかりつけ医制度の推進を図るため、ICTによる地域医療連携ネットワークの構  
築及び在宅医療の後方支援に貢献できる病院を目指して行きます。  
開放型病床の設置、地区医師会の在宅医療部会にも参加してまいります。今後も継続し  
ます。
- アンケート対象奈良県内39病院中で歯科・口腔外科領域の手術において、標  
榜医療機関は11病院のみで、入院、全身麻酔手術を行っている病院となると更に  
少ない数となります。当院では歯科・口腔外科及び、言語聴覚士(SLT)、看護師等  
による口腔ケアでの誤嚥性肺炎予防を実施しています。更に院外の在宅患者への対  
応推進も計画しています。当院歯科・口腔外科は人員増員や施設の拡充を行い入院、

## 平成記念病院

### 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

紹介元病院と件数 (一般病棟)	
県内上位3病院	171件
奈良医大	4件
済生会中和病院	3件
平尾病院	21件
その他県内病院	1件
県外病院	200件
合計	200件
※奈良医大 171件中には呼吸器内科126件を含む	

紹介元病院と件数 (地域包括ケア病棟)	
奈良医大	16件
合計	16件

紹介元病院と件数 (回復期リハビリテーション病棟)	
県内上位3病院	48件
奈良医大	4件
奈良県総合医療センター	4件
天理よろづ相談所病院	10件
その他県内病院	6件
県外病院	72件
合計	72件

◆逆紹介	
逆紹介先病院と件数 (救急外来より専門医へ転送)	
県内上位3病院	39件
奈良医大	3件
済生会中和病院	2件
南奈良総合医療センター	7件
その他県内病院	0件
県外病院	51件
合計	51件

逆紹介先病院と件数 (地域包括ケア病棟)	
県内上位3病院	11件
橿原リハビリテーション病院	8件
奈良厚生会病院	7件
南和病院	16件
その他県内病院	42件
合計	42件

手術、外来診療、口腔ケアについて更に充実させていきます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について  
 ※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができらざるや明らからかになるようご説明ください。  
 1. 婦人科・小児科・眼科・耳鼻科等は、当院では担っておりません。皮膚科については、大学からの非常勤医師に協力願っています。  
 2. 当院の循環器内科は非常勤のみの為、急性期冠動脈疾患等への対応が現状出来ません。又、脳梗塞 t-P.A療法も脳神経内科及び脳神経外科で対応しています。IVRが必要なケースは他院への依頼が必要です。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について  
 ※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

1. 1については、奈良医大を中心に近隣病院にお願いしております。  
 2. 2についても、奈良医大を中心に近隣病院にお願いしております。  
 尚、引き続き奈良医大へは、常勤医師の確保に向け協力を依頼しております。  
 3. 地域医療連携室を介して各病院間の業務連携及び入退院の調整を今後も推進して行きます。参考資料として当院の実績(R2年11月~R3年10月)を添付します。

(具体的な連携協定)  
 ・奈良県「中南和及び東和医療圏の一部における重症腰痛(腰痛・吐血)救急患者受入ネットワーク」に参加しております。  
 ・橿原市救急医療体制における橿原地区二次救急輪番体制病院として参加しております。  
 ・奈良医大での高度急性期を脱した患者の受入を積極的に行うため協定を結んでおります。  
 ・橿原地区医師会の在宅医療連携病院として後方支援を行っております。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1～2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

逆紹介先病院と件数（回復期リハビリテーション病棟）		
県内上位3病院	榎原リハビリテーション病院	25件
	奈良厚生会病院	9件
	南和病院	6件
その他県内病院		23件
県外病院		3件
合計		66件

	<H28年度>		<R3年度>		(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数		
一般病床	高度急性期	0	0	0	0	0
	急性期	180	180	180	177	0
療養病床	軽症	0	0	0	0	0
	回復期	120	120	120	120	0
療養病床	慢性期	0	0	0	0	0
	休養中 (今後再開する予定)	0	0	0	0	0
	休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0	0
	(合計)	300	300	300	297	0
精神病床		0	0	0	0	0
介護医療院			0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1～R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

- ・血栓除去術等の脳血管内手術
- ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ④ 救急医療
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
  - ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
  - ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
  - ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院は、救急において社会医療法人の認定を受けており今後も救急医療に重点をおき継続的に良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保に努めております。

大腿骨骨折手術は年間150～160例前後実施しておりますが、その他外傷や救急疾患に対しても、「断らない病院」を目指します。

- ⑤ リハビリ
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
  - ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=90床)  無し
  - ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
  - ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

リハビリを通じて入院時より多職種連携のもと情報共有し、病病連携・退院支援・在院日数の短縮を図っております。

引続き早期よりの365日リハビリを提供し、充実した単位提供（リハ実施）を行なっております。そして回復期リハビリ病棟や訪問リハビリに向けてのリハビリプログラムを構築すべく調整しております。

- ⑥ 在宅医療
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・在宅療養支援病棟の届出の有無  有り  無し
  - ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無  有り  無し
  - ・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

訪問リハビリを通じて、退院後の身体機能の低下予防に努めていきます。

- (2) 領域ごとの医療機能の方向性について
- ※以下①～⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
- ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
- ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

- ① がん
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・手術の実施  はい  いいえ
  - ・化学療法の実施  対応している  対応していない
  - ・放射線治療の実施  対応している  対応していない
  - ・拠点病院等の指定  がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

日本人の最大死因である悪性新生物は、胃・大腸・肝臓など消化器悪性疾患と一括りにすると、消化器がんが最も多くを占め、消化器内科はその窓口として重要な役割を果たしております。当院では施行していない遺伝子パネルによる個別化学療法や放射線治療などの末期悪性疾患への対応も重要ですが、早期発見はさらに重要で、消化器悪性疾患は早期診断による根治治療が可能であり、検診などの充実が望まれております。当院では、新たな検診・内視鏡センター（2022年4月開業予定）を設立し、さらなる健診・検診の拡大、病診連携を図ります。

悪性新生物の中で最も多い肺癌について、奈良県のDPCコードにおける当院の肺癌患者数は天理よろづ相談所病院、奈良医大、奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院と肩を並べ常に県内上位5病院に入っております。しかし、県の推奨する「面見のいい病院」を実践し、奈良医大や天理よろづ病棟などと連携し入院の必要な重症患者は主に当院で積極的に受け入れ、化学療法などを施行しているため、肺癌患者の平均在院日数が長くなり、今後の検討課題となっております。

- ② 心筋梗塞等の心血管疾患
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  対応している  対応していない
  - ・心疾患に対する外科手術の実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在当院の循環器内科医は非常勤のみで、急性期冠動脈疾患への対応は困難ですが、心臓カテーテルなどが必要のない心不全などの心疾患に対しては既に対応しております。高齢者に多い心血管疾患について、常に専門医に相談できるような体制をさらに充実させるべく調整を続けております。

- ③ 脳卒中
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
  - ・脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
  - ・開頭血腫除去術  対応している  対応していない
  - ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応  対応している  対応していない



⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ

(はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションあおい)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。  
平成記念病院の基本理念を礎とし、「地域住民の皆様に愛される訪問看護ステーション」として関連施設と連携し総合的に地域に密着したサポートを提供しております。今後は、24時間365日、訪問看護サービスを提供していく方針で調整しております。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」、「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）に基づき、本人もしくは家族と、主治医・看護師・関連するスタッフとの繰り返し話し合いの機会を設定しております。特に、在宅看取りを希望され自宅退院される場合は、本人・家族を中心に、在宅主治医、訪問看護師・スタッフ、ケアマネージャーなど関わる全ての職種と退院カンファレンスを開き、話し合いの場を設けています。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  していない  参加していない
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  対応している  していない
- ・分娩の取扱い  している  していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。  
定期的にBCP防災マニュアルの見直しを行っております。令和3年12月に院内訓練、令和4年1月は奈良良医大と連携した災害対策本部の机上訓練、さらに今後当法人グループを含め他施設と合同訓練を予定しております。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。  
内科：奈良県立医科大学付属病院の臨床研修協力施設として研修医の受入・教育を行っており、次年度からは医学生への受入も開始します。さらに、消化器・消化器内視鏡・肝臓学会の名教育指導認定施設となっており、常勤の後期研修医を含めた若手医師の研修・教育に関しても十分な役割を果たし、当院での研修による各学会認定専門医育成の一助を担っております。

整形外科：奈良県立医科大学付属病院と連携し医学生や研修医を受入、指導にあたり、指導に当たっております。さらに日本整形外科学会研修施設、日本手の外科学会認定教育研修施設となっており、若手医師の研修・教育をおこなっております。

消化器乳腸外科：日本外科学会外科専門医制度関連施設を取得し、若手医師の研修・教育を行っております。臨床研修指導医講習に参加し、今後臨床研修医受入に対応予定です。

脳神経内科：日本神経学会教育施設、日本脳卒中学会認定研修教育施設、日本認知症学会教育施設であり、若手医師の研修・教育を行っております。

脳神経外科：日本脳神経外科学会専門医訓練施設であり、若手医師の研修・教育を行っております。

歯科口腔外科：日本口腔外科学会認定准研修施設、日本顎顔面インプラント学会准研修施設であり、若手歯科医師の研修・教育を行っております。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ

- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  
 はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  
 はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  
 はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  
 はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  
 はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  
 はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取方針、他の医療機関との連携統合や選別、検体届出等）について記入してください。

**重点医療機関としての役割を今後も担っていきます。**

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は現在、回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する回復期リハビリテーション病院として、「家庭復帰」「社会復帰」をチーム医療で支援しております。

出来るだけ早期から、集中的なリハビリテーションを取組むため、地域の急性期病院との連携を強化しております。また、リハビリロボットを多数導入し、リハビリ栄養に着目した取り組みを行うなどリハビリテーションの効果を高める努力を続けております。

加えて、退院後のリハビリテーションに積極的に関与するため、「外来リハビリテーション」「訪問リハビリテーション」に積極的に取組んでおります。

当院は今後も引き続き、当地域において、「回復期機能」の役割を担ってまいります。

なお、急性期病院からの患者の受入だけでなく、地域の診療所、介護施設との連携を強化し、地域住民の軽症急性期の患者の受入、在宅復帰に積極的に取組むため、令和3年1月より病棟内に地域包括ケア病床を開設し運用を開始しております。今後はさらに在宅医療に目を向け、地域包括ケアシステムにおける役割を充実させる方針です。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができかぎり明らかになるようご説明ください。

当院は、高度急性期、急性期病院から急性期を経過した患者の早期受入を行い、地域における「回復期機能」の役割を果たします(高度急性期、急性期機能は担いません)。

また、地域包括ケアシステム機能を促進するため、在宅医療分野を充実し、軽症急性期患者の受入れ、在宅復帰を担う「回復期機能」の役割を果たします。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできかぎり明らかにするようご説明ください。

地域内の高度急性期病院(奈良県立医科大学付属病院)、重症急性期病院(平成記念病院他)、専門特化型急性期病院(吉本整形外科・外科病院他)との連携を更に強化します。

中和医療圏に隣接した東和医療圏、南和医療圏の重症急性期病院(南奈良総合医療センター、天理よろづ相談所病院等)との連携を強化し、急性期を経過した患者の早期受入、在宅復帰機能を発揮します。

また、近隣で在宅医療に取り組んでいる診療所(うねびクリニック、武田内科医院等)との連携を強化し、急変患者の受入など在宅医療のバックアップ機能を強化します。

近隣の介護施設との連携を強化し、入所者急変時の受入、施設への早期退院など、地域包括ケアシステムの機能がより発揮される役割を担っていく方針です。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

# 平成まほろば病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・ 療養病床	高度急性期		〈H28年度〉 (a)許可病床数		〈R3年度〉 許可病床数		(b-a) (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	重症 軽症	重症 軽症						
急性期								0
回復期			116	116	106			0
慢性期								0
休養中 (今後再開する予定)								0
休養中 (今後廃止する予定)								0
(合計)			116	116	106			0
精神病床								0
介護医療院								0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数  
・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
※実行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳腺	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	心疾患に対する外科手術の実施	

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数=106床）  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- （はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションおあい）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMJIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

・地域における精神疾患（統合失調症・うつ病等の気分障害等）や認知症疾患に対しての医療を担う。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかざり明らかになるようご説明ください。

・総合診療科病院と連携し、身体疾患の治療を一般医療で受けている患者の精神疾患・認知症疾患の治療を担う。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について  
※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかざり明らかになるようご説明ください。

※行が足りない場合は適時、行を唐やしてください。種数枚になっても結構です。

# 万葉クリニック

## 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成





今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- 病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- 小児科病院二次輸送体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- 訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ

（はいの場合 施設名称：訪問看護ステーション 光）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数＝床）  無し
- 訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- 通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

いいえ  
していない  
していない  
参加していない

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱いは 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

いいえ  
対応していない  
していない

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

いいえ  
いいえ  
いいえ  
参加していない

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

いいえ  
いいえ

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

いいえ  
いいえ

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

いいえ  
いいえ  
いいえ  
いいえ  
いいえ  
いいえ  
いいえ

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について高齢期においては、病気が完治することではなく、糖尿病や認知症などの慢性疾患や脳血管疾患等の後遺症などによる複数の疾病の患者がおり、在宅での医療が困難な方を慢性期機能として療養病棟で担って参ります。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにするようご説明ください。

(1) でも記載したように、慢性期機能を主な役割としたいため、急性期機能等は担いません。

(3) (2) を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

協定等はありません。

急性期治療を終えられた患者の慢性期医療への移行がスムーズに行えるよう  
病院間の連携体制の強化に努めております。

※行が足りない場合は逆時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

# 榎原リハビリテーション病院

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	＜H28年度＞		＜R3年度＞		＜R7(2025年度)＞		＜(b-a) H28年度からの増減＞	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(R7/2025年度)	(b-a)	(R7/2025年度)	(b-a)
高度急性期								0
急性期								0
重症								0
軽症								0
回復期								0
慢性期		205		205	205	205		0
休養中 (今後再開する予定)								0
休養中 (今後廃止する予定)								0
(合計)		205		205	205	205		0
精神病床								0
介護医療院								0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。  
(注1) 最大使用病床数 : 1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。  
※連携については、あてはまるものに○をつけてください。  
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複製枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか?	はい
手術の実施	肺、呼吸器、消化器、泌尿器、生殖器
化学療法の実施	対応している
放射線治療の実施	対応している
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院 奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。  
変更は、ございません。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか?	はい
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している
心疾患に対する外科手術の実施	対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。  
変更は、ございません。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか?	はい
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している
脳動脈クリッピング術	対応している
開頭血腫除去術	対応している
脳出血(くも膜下出血を含む)への対応	対応している
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している

④ 救急医療

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
変更はございません。

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい
- ・大腿骨骨折への対応 対応している
- ・病院群輪番制への参加 参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
変更はございません。

⑤ リハビリ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
現状のまま維持を考慮しております。

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・障害中等循環器病への早期リハビリ 対応している
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床）
- ・訪問リハビリの実施 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
現状のまま維持を考慮しております。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい

（はいの場合 施設名称：東春訪問看護ステーション（愛知県））

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
変更はございません。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている
- ・定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
ガイドラインが変更になれば、それに沿うかたちで指針も改正する予定です。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。  
変更はございません。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。  
変更はございません。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  対応していない
- ・分娩の取扱い  している  していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。  
変更はございません。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。  
変更はございません。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。  
変更はございません。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ

- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

感染管理に関しては、法人本部に感染管理認定看護師がおり、有事には同じく法人本部のクラスター防止対策班と共に、対応しております。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
- ・ 橿原市を中心とした、地域の中核病院として地域医療を担う。
- ・ 救急告示病院であり、橿原市の二次救急輪番病院として救急医療を担う。

具体的には

内科

急性心筋梗塞・経皮的カテーテル心筋焼灼術に特化し24時間365日体制を目指す。

整形外科

膝関節・股関節の疾患を中心に、足関節・手の外科・外傷骨折手術の現行以上の充実を目指す。

以上のような診療内容の特性により、内科、整形外科の急性期医療を担う地域の中核病院を目指す。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割、機能ができなくなるかぎり明らかになるようご説明ください。

近隣には平成記念病院・平尾病院・自院の各病院で、専門とする診療科が異なり、各病院間で患者さんの紹介を円滑に実行している。よって、有効な役割分担が行われていると考えており、縮小するべき役割などについては見当たらない。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

- ・ 心臓血管装置を2023年までにもう一機購入し、心臓血管センターを設置する。
  - ・ 地域医療機関からの紹介が多い、人工関節センターを強化すると共に、橿原市以外の周辺地域への一層の周知徹底を行う。
  - ・ 人工透析センターの地域医療機関への一層の周知を図る。
- 以上のような機能の充実を踏まえ、自院のみならず、近隣各病院特性をより強化することで広範囲にわたる救急患者の受け入れ体制の細分化の推進を図るべきだと考える。

※行が足りない場合は適時、行を挿やしてください。複数枚になっても結構です。

## 医療法人橿原友誼会

### 大和橿原病院

#### 地域医療構想における

#### 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	高度急性期	重症 軽症	101 48	101 48	101 48	0 0
急性期	重症	101	101	97	0	0
急性期	軽症	48	48	40	0	0
回復期					0	0
慢性期					0	0
休養中 (今後再開する予定)					0	0
休養中 (今後廃止する予定)					0	0
(合計)		149	149	137	149	0
精神病床					0	0
介護医療院					0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
※行が足りない場合は追加、行を却やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？

手術の実施  
化学療法の実施  
放射線治療の実施  
拠点病院等の指定

はい  
消化器  
肺、呼吸器  
がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

いいえ  
泌尿器、生殖器  
対応していない  
対応していない  
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  
心疾患に対する外科手術の実施

はい  
対応している  
対応している

いいえ  
対応していない  
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  
脳動脈クリッピング術  
閉頭血腫除去術  
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応  
血栓除去術等の脳血管内手術  
脳血管疾患等への早期リハビリの実施

はい  
対応している  
対応している  
対応している  
対応している  
対応している

いいえ  
対応していない  
対応していない  
対応していない  
対応していない  
対応していない

奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。



今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- 病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数＝床）  無し
- 訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- 通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- 訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ

（はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションの何の）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMA T指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

## 1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

## (1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

現在、当院では泌尿器科を中心に内科、外科等の診療を行っております。外科系におきましては、手術対象患者様を中心に診療しており、内科系にしましては、市中肺炎や地域包括病床を利用した高齢者の医療が中心になっております。

今後、少子高齢化が進み高齢化率が更に上がることが言われております。当院と致しましては、その様な環境の中でも今までも同じ様に泌尿器科領域の診療を続けながら、高齢者特有の泌尿器科領域の疾患に対しても、益々力を入れていきたいと考えております。また、内科領域においても、高齢者が増える事で今以上に増えると考えられる高齢者救急に力を入れて行くつもりです。また一方で、地域の超急性期病院等からの転院患者も今まで以上にお受けする様に努めたいと考えております。外科に関しても現在と同じ様に手術患者を中心に、化学療法等の治療も含め診療を進める考えです。

また、地域の開業医の先生方との関係性も今まで以上に信頼関係を築き、地域の先生方の後方支援を今後も積極的にさせて頂くつもりです。

当院の特色で1番インパクトのある泌尿器科領域の治療にしましては、橿原市や中和医療圏だけでなく、奈良県全域からの患者を受け入れていく事が出来る体制を今後も継続して行きたいと考えております。

当院では急性期医療を今後も行う予定にしておりますが診療科によっては、手術等を対応する『重症急性期』と肺炎や感染症等を対応する『軽症急性期』を担う様な取り組みを行って行きたいと考えております。

## (2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができればより明らかなようご説明ください。

橿原市の人口は、2021年4月現在121,156人で、高齢化率は28.8%になっており、当院を中心に半径3km以内には、200～300床規模の急性期病院が2病院あり、大学病院も直ぐ横にある様な立地でございます。近隣の急性期病院とは、診療科の住み分けが出来ており、お互いに対象疾患の患者様を紹介出来る様な関係性を作り上げることが出来ておりますので、今後その様な関係性の維持を行って行きたいと考えております。当院の特に強みである泌尿器科領域の診療にしましては、奈良県全域を診療圏と定め、システムを構築することで、奈良県における泌尿器科領域の診療に貢献できると考えております。

一方で、超急性期医療からは脱したが、未だ退院出来ない中程度の医療度の有る患者様を大学病院等から受けて行くシステムの再構築を行い、当院と致しましての地域医療での役割分担に努めたいと考えております。

令和3年11月作成

## 平尾病院

## 地域医療構想における

## 具体的対応方針

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について  
 ※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

当直医師に泌尿器科の医師が出来るだけ多くの日数に入っていたいただければ、非常に非常勤医師との契約を多数行っております。しかし残念ながら、365日と至らず現在も六を埋めるべく努力をおこなっております。そこで、泌尿器科医師の当直で無い日は、出来るだけ泌尿器科救急に対応するため、夜間は開業医の先生方の診察終了となる時間帯迄、当院の医師の待機を行っております。  
 大病院が可能な様には、泌尿器科からの、中程度の医療度が有る患者様の速やかな転院が可能となる様に各医療機関の地域連携室との有効な情報の交換が可能となる様なシステム構築を急ぎたいと考えております。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数故になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b-a) (R7/2025年度)H28年度からの変更
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数	
一般病床	高度急性期	0	0	0	0
	急性期	47	47	41	47
病	重症	52	52	42	52
	軽症	0	0	0	0
床	回復期	22	0	0	0
	慢性期	0	0	0	-22
療養病床	休養中 (今後再開する予定)	0	0	0	0
	休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0
	(合計)	121	99	83	99
精神病床		0	0	0	0
介護医療院			22	22	22

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※連携版については、あてはまらない場合は適時、行を削りしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか?
  - 手術の実施  はい  いいえ
  - 化学療法の実施  はい  いいえ
  - 放射線治療の実施  はい  いいえ
  - 拠点病院等の指定  はい  いいえ
- がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 がんの診療につきましては、手術対応が出来るがんに対しては、積極的治療を行っていきまます。化学療法等の治療に関しても、他医療機関との連携で泌尿器科、内科、外科の診療科で受けられる治療に関しては、今後受けて行くつもりです。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか?
  - 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  はい  いいえ
  - 心疾患に対する外科手術の実施  はい  いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 超急性期の心臓カテーテル治療や手術等は当院では対応しておりませんので、なるべく医療機関に紹介をさせていただきます。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか?
  - 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  はい  いいえ
  - 脳動脈クリッピング術  はい  いいえ
  - 開頭血腫除去術  はい  いいえ
  - 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応  はい  いいえ
  - 血栓除去術等の脳血管内手術  はい  いいえ
  - 脳血管疾患等への早期リハビリの実施  はい  いいえ
  - 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加  はい  いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 脳外科領域の手術や検査に関しては対応しておりませんので、なるべく医療機関に紹介をさせていただきます。脳梗塞に関しては対応させていただきます。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか?
  - 救急告示病院の指定を受けているか?  はい  いいえ
  - 大腿骨折への対応  はい  いいえ
  - 病院群輪番制への参加  はい  いいえ
  - 小児科病院二次輪番体制への参加  はい  いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 橿原地区の二次救急医療輪番病院群に参加させていただきますので、そこで対応させていただきます。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか?
  - 脳卒中等循環器病への早期リハビリ  はい  いいえ
  - 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  はい  いいえ
  - 訪問リハビリの実施  はい  いいえ
  - 通所リハビリの実施  はい  いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 現在行っている形態のリハビリについては、継続して行くつもりです。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 無し 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 有り
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。  
施設基準における『在宅療養支援病院』や『在宅療養後方支援病院』にはなっておりませんが、地域の開業医の先生方のバックアップが出来る様に今後も後方支援を担当していく積りです。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：  
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。  
現在、訪問看護についてはノープランです。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。  
当院では、既にACPを取り入れた運用を行っており、今後も継続して行く様に考えております。今後も柔軟な対応が出来る様に、院内の研修などを定期的に行いたいと考えております。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。  
現在、小児救急についてはノープランです。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。  
現在、周産期医療についてはノープランです。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。  
現在、災害医療についてはノープランです。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
現在、へき地医療についてはノープランです。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
今後は、考慮したいと考えております。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
  - ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か）  はい  いいえ
  - ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
  - ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
  - ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
  - ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
  - ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、発熱外来やコロナ患者を受け入れる重点医療機関として運営させて頂いております。今後も、地域の安全が確保されるまでは継続するつもりです。





1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について  
【1】消化器疾患、消化器癌の早期診断を担う病院

消化器内視鏡専門医3名により、上部消化管内視鏡検査を年間約1500件、下部消化管内視鏡検査を年間約2000件、腹部超音波検査を年間約1500件施行している。令和3年では胃癌29例、大腸癌46例、食道癌3例、胆嚢癌2例、膵癌1例を当院にて診断している。紹介元は県内全体の医院・病院からの紹介、2次検診目的の検診機関からの紹介受診が多い。また診断後は奈良県立医科大学附属病院、済生会中和病院、夫理よろづ相談所病院を中心に、県内の癌拠点病院へ積極的な紹介を行なっている。

【2】肛門疾患診療の拠点病院

令和3年度の肛門疾患外来延べ患者数は15,700件、初診肛門疾患外来患者数は2,480件であった。また令和3年度の肛門疾患手術に関しては約580件であり、県内の医療機関より多数の紹介を受けている。また近年では他府県からの受診も増加している。

【3】炎症性腸疾患診療の拠点病院

当院における炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)の患者数は200人以上と近年特に増加している(県内で100例以上の炎症性腸疾患患者数がある病院・医院は5医療機関)。

内視鏡検査を中心とした早期診断と生物学的製剤を含めた積極的な治療を行なっている。手術症例は奈良医大附属病院消化器・総合外科と綿密な病々連携を行なっている。

【4】直腸肛門機能障害における拠点病院

排便機能障害を含めた、直腸肛門機能障害に対する積極的な診断と治療を行なっている。特にバイオフィードバック療法を含めた肛門機能訓練を行っている医療機関は県内唯一であり、県内はもとより他府県からの受診も多い。

【5】糖尿病・内分泌内科

糖尿病学会専門医、内分泌科専門医による積極的な診断と治療を行なっている。

以上より当院が今後地域において担う役割、機能に関しては、「消化器疾患の早期診断と高次医療機関との綿密な連携を行える病院」「肛門疾患診療・炎症性腸疾患・直腸肛門機能障害の拠点病院」と考えている。

## 医療法人一路会 錦織病院

### 地域医療構想における

### 具体的対応方針



(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑨の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 ※選内法については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を削りしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？ はい 診断と早期大腸癌の内視鏡的治療のみ  
 ・手術の実施 消化器 早期大腸癌の内視鏡的治療 対応していない  
 ・化学療法の実施 対応していない  
 ・放射線治療の実施 対応していない  
 ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 これまで通りで変更なし。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？ いいえ  
 ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応していない  
 ・心疾患に対する外科手術の実施 対応していない  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 対応する予定無し

③ 脳卒中

・当該領域について対応しているか？ いいえ  
 ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応、して いない  
 ・脳動脈クリッピング術 対応、して いない  
 ・開頭血腫除去術 対応、して いない  
 ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応、して いない  
 ・血栓除去術等の脳血管内手術 対応、して いない  
 ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応、して いない  
 ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加していない  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 対応する予定無し

④ 救急医療

・当該領域について対応しているか？ いいえ  
 ・救急告示病院の指定を受けているか？ いいえ  
 ・大腿骨折への対応 対応、して いない  
 ・病院群輪番制への参加 参加していない  
 ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加していない  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 対応する予定無し

⑤ リハビリ

・当該領域について対応しているか？ いいえ  
 ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応していない  
 ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 無し  
 ・訪問リハビリの実施 対応していない  
 ・通所リハビリの実施 対応していない  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 対応する予定無し

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。  
 ・当該領域について対応しているか？ いいえ  
 ・在宅療養支援病院の届出の有無 無し  
 ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 無し  
 ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応していない  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 対応する予定無し

⑦ 訪問看護

・病院看護師が当該領域について対応しているか？ いいえ  
 ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ いいえ  
 （はいの場合 施設名称： ）  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 対応する予定無し

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めていない  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 今後検討していく。

⑨ 小児医療

・当該領域について対応しているか？ いいえ  
 ・小児入院医療管理料の算定 していない  
 ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない  
 ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加していない  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能防止等）について記入してください。  
 対応する予定無し

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  いいえ  はい
- ・分娩の取扱い  対応していない  している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  していない  している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
対応する予定無し

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  いいえ  はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  いいえ  はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  いいえ  はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加  している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
医師会を通じて県内の災害医療に貢献していく。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  いいえ  はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  いいえ  はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
対応する予定無し

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  いいえ  はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  いいえ  はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
対応する予定無し

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  いいえ  はい

- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？  いいえ  はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  いいえ  はい
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  いいえ  はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
発熱外来認定医療機関は持続するが、病院の規模より入院治療は難しい。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について精神科単科病院として多様な疾患・病態に対応できる体制をもって精神科医療に臨んでおりますが、拠点機能病院である奈良県立医科大学付属病院に隣接する立地を活かし連携強化に努めると共に、引続き精神科における輪番病院として緊急入院への対応や、一次・二次救急病院として幅広い精神科医療を提供できるように役割を担っていきたいと考えています。

また、当院が標榜する医療圏における認知症患者増によるニーズの高まりを鑑み、認知症治療病棟への病床再編を予定、地域と連携した患者受入をすべく強化を図って参ります。

併せて内科やリハビリ体制の強化に努めることで更なる充実した医療の提供を図りたいと考えています。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができらぬかぎり明らかになるようご説明ください。

地域における精神科医療の担い手として地域医療機関や公的機関・福祉施設等との連携を更に強化し、措置入院・保護入院患者等の精神科急性期患者の積極的な受入に努めます。

また、将来的な地域における認知症治療患者の増加に対応すべく病床を再編して、認知症治療患者の受け皿となるべく体制を整えてまいります。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

現状は未定です。

※行が足りない場合は通称、行を増やしてください。掲載数になっても結構です。

# 飛鳥病院

## 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	(a) 許可病床数		最大使用病床数
	<H28年度>	<R3年度>	
高度急性期			
急性期			
重症			
軽症			
回復期			
慢性期			
休養中 (今後再開する予定)			
休養中 (今後休止する予定)			
(合計)	0	0	0
精神病床	388	388	276
介護医療院			
	367		-21
			0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳腺	泌尿器、生殖器等
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。		

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加	参加している	参加していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。		

④ 救急医療

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
救急告示病院の指定を受けているか？	はい	いいえ
大腿骨骨折への対応	対応している	対応していない
病院群輪番制への参加	参加している	参加していない
小児科病院二次輪番体制への参加	参加している	参加していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	現在、二次救急として精神科病院群における輪番制に参加しており、引き続き対応してまいります。	

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=床)  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。  
精神科における通所リハビリとしてデイケア施設を運営していますが、今般、病棟改築工事に伴ってデイケア施設を新病棟に新しく移設し設備更新並びに環境整備を図ります。

退院後の外来患者や在宅患者の他、地域における福祉地域施設等との連携を図って利用者の受入強化に努めて参ります。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施 (再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ

(はいの場合 施設名称: )

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。  
現在、訪問看護については対応しておりませんが、近い将来に、近い将来において訪問看護ステーションの開設を検討しています。

⑧ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 (再掲)  参加している  参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS (広域災害救急医療情報システム) への参加  参加している  参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  
 はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や感染方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。



1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は、中和医療圏の中でも、特に葛城地区の基幹病院であり、基本的には、地域医療構想における高度急性期、重症急性期病床を担うべきでありますが、現状の常勤医師数が54名と、これまで極端な医師不足のため十分に機能を果たせざるにしております。しかし、病院の建て替えを機に、奈良県立医科大学からの医師派遣等の支援が活発になっており、次年度、新たな診療科からの医師派遣が決まっています。さらに病院建替え前後に、様々な診療科の医師数の増加や新たな診療科の新設が見込まれますので、本来当院が受け持つ高度急性期、重症急性期を中心とした医療を行うことが可能になるかもしれません。2020年度に開催しました当院の将来のあり方検討委員会では、地域包括ケア病棟を有する急性期を中心としたケアミックス病院として、①急性期を中心とした医療を継続すること②奈良県立医科大学病院等の回復期症例を受け入れること③緩和ケア病棟を持つことなどを検討しました。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において真院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときは明らかなようにご説明ください。

先述の如く、当院は地域包括ケア病床を有する急性期を中心としたケアミックス病院であり、今後も急性期病床（重症急性期および軽症急性期）を中心に診療を行うと共に、奈良県立医科大学など他院からの回復期症例も受け入れていく方針です。また診療科の新設が行えれば、高度急性期症例の受け入れも可能になると考えます。なお慢性期症例は、当院の受け入れ対象外と考えます。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかなようにご説明ください。

葛城地区には、6病院による二次救急輪番が存在し、夜間・休日の救急診療を担っております。6病院は、土庫病院、中井記念病院、香芝生喜病院、済生会御所病院、吉本整形外科・外科病院及び当院で構成され、定期的に行政や消防局と協議会や医療部会を開催して、より良い二次救急輪番体制が整備できるように検討しています。なお6病院間で治療を行えない頭部外傷や心筋梗塞などの高次の症例については、主に奈良県立医科大学で対応をお願いしております。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

# 大和高田市立病院

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1～2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<b-7>	
	(a)許可病床数		許可病床数		(R7/2025年度)H28年度からの増減	
一般病床	高度急性期				0	
	急性期	重症 軽症	249 71	249 20	249 20	0 -51
療養病床	回復期		51	51	51	0
	慢性期					0
	休養中 (今後再開する予定)					0
	休養中 (今後廃止する予定)					0
	(合計)		320	320	0	
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数  
1年間(R2.4.1～R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
※行が足りない場合は添紙、行を併用してください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか?
  - はい
    - 手術の実施
      - 肺、呼吸器
        - 対応している
        - 対応していない
      - 消化器
        - 対応している
        - 対応していない
      - 泌尿器、生殖器
        - 対応している
        - 対応していない
    - いいえ
  - 化学療法の実施
  - 放射線治療の実施
  - 拠点病院等の指定
  - がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか?
  - はい
    - 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施
      - 対応している
      - 対応していない
    - 心疾患に対する外科手術の実施
      - 対応している
      - 対応していない
  - いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか?
  - はい
    - 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施
      - 対応している
      - 対応していない
    - 脳動脈クリッピング術
      - 対応している
      - 対応していない
    - 開頭血腫除去術
      - 対応している
      - 対応していない
    - 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応
      - 対応している
      - 対応していない
    - 血栓除去術等の脳血管内手術
      - 対応している
      - 対応していない
    - 脳血管疾患等への早期リハビリの実施
      - 対応している
      - 対応していない
    - 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加
      - 参加している
      - 参加していない
  - いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- 病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
当院では、救急医療の充実を図っており、本年初めて年間救急車応件数が2000件を超えることができています。また、葛城地区二次救急輪番制、小児科病院二次輪番体制にも積極的に参加しています。今後、常勤医師数の増加と共に、さらに救急部門を強化できるものと考えております。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数＝床）  無し
- 訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- 通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
当院には、現在、リハビリスタッフ（PT/OT/ST）が10名おり、疾患別リハ、がんリハ、心不全リハ等のリハビリを行っています。今後、益々深刻化する高齢化社会に向けて、また当院に地域包括ケア構想もあることから、リハビリスタッフの増員を行い、リハビリの強化を図る方針です。なお回復期リハビリ病棟はなく、また訪問リハビリ、通所リハビリは、今後も行わない方針です。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 在宅療養支援病棟の届出の有無  有り  無し
- 在宅療養後方支援病棟の届出の有無  有り  無し
- 訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
当院は、現在、地域医療支援病院となることが目指しており、積極的に在宅医療に対する支援を行っています。今後、さらなる支援の充実を目指し、在宅療養支援病院や在宅療養後方支援病院の届け出を出すことも検討したいと考えております。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ

（はいの場合 施設名称：大和高田市訪問看護ステーション）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
当院では、市の訪問看護ステーションを持っており、退院後の患者さんのケア等を積極的に取り組んでおります。今後、さらに積極的に同訪問看護ステーションを運用していく方針です。また地域への他の訪問看護ステーションとも綿密な連携を図り、在宅患者のサポートを行っております。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院では、緩和ケアチームを中心として、ACPに取り組み、積極的に講習会などを受講し、指針も作成しております。ACPについては、今後さらに充実を図る考えです。

⑫へき地医療

- 当該領域について対応しているか？ はい
- へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院の近辺にはへき地がなく、現在のところ、へき地医療を行う予定はありません。

⑩小児医療

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 小児入院医療管理料の算定 している
- 新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- 小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院には、小児科常勤医師が6名おり、小児入院医療管理料4を算定しています。経験豊かな

医師が揃っており、救急医療も積極的に、小児科病院二次輪番体制にも参加しております。

今後も、充実した小児医療を継続する方針です。

⑩周産期医療

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 分娩の取扱いはいいえ
- ハイリスク分娩管理加算の算定 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院は、開設当初より、周産期医療に注力してまいりました。多くの分娩を取扱ひ、ハイリスク

分娩管理加算の算定も行っております。当院の伝統ある周産期医療を、今後も継続する方針です。

⑩災害医療

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院は、災害拠点病院およびDMAT指定病院の指定を受け、またEMIS（広域災害救急医療情報

システム）に参加しております。毎年、防災訓練を行い、また災害被災地へのDMATの派遣

も行ってまいります。今後も災害拠点病院としての役割を果たしていきたいと考えております。

⑩医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院は、基幹型臨床研修病院の指定を受け、1学年3名の募集枠を確保しています。研修体制の

充実に伴い、この数年、フルマツチを続けております。さらに2023年度に総合診療科の立ち上

げを目指しており、研修体制のより一層の強化が可能と考えております。また昨年来の新型コロナ

感染症における医師派遣要請には積極的に協力してまいりましたが、病院全体の医師数が不足

しており、他院の応援などは困難な状況です。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- 発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい
- 新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れられているか？（重点医療機関か？） はい
- 新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れられているか？ はい
- 平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい
- 平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい
- クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい
- クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大初期より、重点医療機関として陽性患者や疑似症患者の受け入れを行ってきました。また感染症内科医師、感染管理認定看護師を確保し、平時から自病院内の感染防護具を備蓄し、クラスター発生時の対応方針も院内で共有できております。ただ現在、内科医師不足のため、呼吸器管理を伴う重症陽性患者の受け入れは困難な状況です。今後、内科医師数の増加に伴い、状況の改善が見込まれるものと期待しております。

## 1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

## (1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

地域に根ざした急性期病院としての機能と、総合診療医・家庭医をはじめ、地域医療をなす医師養成機能を発揮します。

急性期機能としては救急医療、消化管を中心とした外科医療や、在宅支援病院として地域の急病救急を受け入れる機能、慢性期機能としては呼吸器、循環器、糖尿病などの慢性疾患を軸に幅広い患者を受け入れます。

当院では入院調整機能を強化し、入院から退院、退院後まで患者が地域で住み続けられることを支援する地域包括ケアを支える病院をめざします。

救急医療については、中和地域での60歳以上の高齢者の救急ニーズの増加に備え、高齢者や地域の在宅患者の急病、救急の受入や、これまでの救急機能として葛城輪番、小児輪番、急性腹症ネットワークなどについて強化していきます。

在宅療養支援病院として、地域の開業医や高次医療機関との連携を強化し、当会のみならず地域の在宅患者の急病救急を受け入れます。

コロナ禍で検診受診率が低下しており、悪性疾患の重症化が問題となっています。また医療にかかる機会をさまざまな理由で失っている地域住民に対して健康維持、疾病の早期発見を目的として健診活動を強化します。

当院の大腸肛門科は大腸肛門病疾患の早期発見、早期治療に貢献してきました。さらにIBDなども難病についても奈良県下でも大きな役割を果たしています。この分野において専門性を発揮できるよう、病診連携を強め紹介率を高め、地域の患者さまに高度専門医療を提供します。小児科のベッドを確保し、数少ない入院が可能な小児科としての役割を発揮します。また当会には病児保育所もあり、小児科を中心として子育て支援を行います。

初期研修医療機関として、初期研修から専門研修を通じて、専門分野だけでなく幅広い知識と臨床対応能力をもつ医師、医療のみならず保健や介護・福祉の分野にも習熟した医師の養成を行っていきます。当院ではこの間フルマツチが続き、引き継ぎ初期研修医に選ばれる初期研修、奈良県で研修を継続し働き続ける決意ができるような研修をめざします。

葛城地区の医療機関とはお互いの強みを活かしながら病診連携を強めます。地域医療を病院群全体で支えるため、協力協同して医療供給体制の構築をすすめます。

生活困窮者の医療を保障するため、無料低額診療を推進します。県下の無料低額診療事業を実施している医療機関との連携をめざします。セーフティネットを強化して医療を受ける権利を保障し、手遅れ事例を減らします。

## 土庫病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができなくなるか、明らかに明らかなようになるようご説明ください。

当院の強みとしては、高齢者救急や慢性疾患を中心とした総合診療、大腸肛門疾患を中心とした消化器外科部門、子育て支援まで視野に入れた小児医療、訪問看護、在宅診療です。

これらについては、自院での患者受け入れの強化を図ります。

近隣の医療機関には大和高田市立病院、吉本整形外科外科病院、中井記念病院、御所済生会病院、香芝生喜病院があり、それぞれの特徴のある分野について連携しています。

救急医療については、外来の体制を今後変更し、幅広く在宅、高齢者施設、障がい者施設の高齢者、障がい者をはじめとする救急・急病の対応を強化します。また葛城輪番の参画病院とも連携をとりながら、地域の救急ニーズに応えます。

慢性疾患については今後近接診療所などへ管理を移し、当院では救急や急病の患者様の受入、治療を行ったあと近接診療所や地域の開業医さまへつなぐことができよう病診連携を強化して対応します。

消化器外科部門では地域の開業医さまなどからの紹介患者さんを幅広く受け入れ、必要な処置をおこなったあとは病診連携で開業医さまへ今後の管理を委託します。

小児医療については当院での入院治療を行います。場合によっては対応できない疾患については、病診連携で高次医療機関などにつなげます。

訪問看護や在宅診療分野については、当院が在宅療養支援病院としての機能を発揮し、地域の患者様の受入を行います。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようご説明ください。

- ・地域の開業医さまと病診連携を行い、急病救急患者の受け入れを行います。
- ・大腸肛門疾患分野では地域の開業医さまからの紹介の患者さまの受入を強化します。
- ・葛城地区の病院群（大和高田市立病院、中井記念病院、御所済生会病院、吉本整形外科外科病院、香芝生喜病院）と葛城輪番をはじめさまさまなチャネルで各施設の強みを活かして連携を深めます。
- ・中南和地区や隣接する西和、東和地区の高次医療機関と病診連携を深め、患者さまの受入を積極的に進めます。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数		
一般病床						
急性期		151	151	150	151	0
重症						0
軽症						0
回復期		48	48	48	48	0
慢性期						0
休養中						0
(今後再開する予定)						0
休養中						0
(今後休止する予定)						0
(合計)		199	199	188	199	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 手術の実施  消化器  肺、呼吸器  泌尿器、生殖器  対応していない
- 化学療法の実施  対応している  対応していない
- 放射線治療の実施  対応している  対応していない

・拠点病院等の指定  がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
 当院は1988年に大腸肛門病疾患の早期発見、治療を目的として大腸肛門病センター開設し、地域住民の大腸肛門病疾患の早期発見、診断、治療を行っております。当院を受診された患者については定期的なフォローアップシステムで患者のフォローを行っております。その強みをさらに活かして、地域連携を通じて患者さまを受け入れ、当院での治療のち、かかりつけ医によるフォローアップをお願いしていくことで、当院の強みをより活かしていきたいと考えております。またがん治療においては化学療法も積極的に取り入れており、働きながら治療をつづけられる治療体制を構築しております。さらに内科や地域の開業医さまと連携し、在宅でもがん治療が行える体制を構築していきたいと考えております。

またがん患者さまの疼痛、終末期において、入院のみならず在宅をはじめ住み慣れた生活の場での緩和ケアが提供できるようにします。  
 また先端医療としてロボット手術の導入を今後検討します。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  対応している  対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
 心血管疾患については外科的なものや侵襲的検査などについては対応しておりますが、高齢者の心不全については内科的な治療を行っております。また当院では冠動脈CＴの実施により心臓血管疾患の診断が可能であり、外科的処置が必要な患者さまについては専門病院への紹介が可能で、また心臓リハビリ指導士も在籍しており、今後心臓リハの実施も視野にありま。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血管溶解療法の実施  対応している  対応していない
- 脳動脈クレンジング術  対応している  対応していない
- 開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応  対応している  対応していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術  対応している  対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施  対応している  対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院では脳卒中における急性期治療には対応しておりません。  
 しかしながら脳血管疾患等リハビリテーション科Iを届出しており、急性期対応後の患者様の紹介を受け入れ、リハビリを実施しております。

2022年度にMRIの導入を計画しており、導入されれば脳梗塞などの脳血管障害の診断が容易に行えます。ただし治療ができないため、基本的には救急患者を受け入れの早期診断を行い、高次医療機関へつなぐ役割を担います。今後は高次医療機関と連携し治療後の患者のリハビリ目的の転院、退院支援を行います。また当院の地域包括ケア病棟を活かし、脳卒中地域連携バスへの参加も検討します。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- 病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
 当院には救急科専門医が在籍しており、救急受け入れはもとより専攻医の受入を行っており、地域の救急医療の発展の一翼を担っております。

中和地域においては、2025年までに高齢者の救急需要が増加します。当院の救急患者さまについても60歳以上の高齢者の救急搬送割合が増加しており、今後の需要拡大に備えます。まず社会医療法人の要件について、救急医療での要件として、地域の救急需要に応えます。また土庫病期の救急受入を拡大するため、当院内科救急科の慢性患者さまについては近接診療所に移し、急性期救急医療の受入を強化します。また地域の開業医さまが管理しておられる在宅患者さまや施設入所さまの急病に迅速に対応できるように、病診連携を強化して救急受け入れを強めます。また葛城輪番や小児輪番についてもこれまでと同様、地域の救急をまもるため引き続き強化して取り組めます。

大腿骨骨折については、吉本整形外科病院と連携し、患者さまを紹介いたします。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り (病床数= )  無し
- 訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- 通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能制小、機能制中等) について記入してください。  
 当院にはリハビリ医が常駐しており、病棟での急性期対応 (術後・救急入院後) から生活期の訪問リハビリまで幅広く対応しております。(現在コロナ病棟に転換しているため休止中ですが、過去の実績として) 地域包括ケア病棟では虚弱高齢者を中心に、地域・在宅につなげる包括的なリハビリテーションを行ってまいりました。また身体的機能面だけでなく、認知症ケアや摂食嚥下・栄養サポートについての家族への指導なども充実しております。今後これらの取り組みをさらに強めていきます。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- 訪問リハビリの実施 (再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能制小、機能制中等) について記入してください。  
 当院は在宅医療については在宅療養支援病院の認可を受けております。当院でも在宅医療を行っておりますが、今後は近接診療所と外来の機能を調整し、当院の内科救急科と連携しながら在宅の急病受入を重視し在宅医療に取り組みたいと考えております。当院の在宅患者さまのみならず、地域の開業医さまと連携し、開業医さまが管理されている在宅患者様の急病に迅速に対応できるシステムをつくっていきたくと考えており、在宅療養後方支援病院と同等の機能をもつ病院として在宅医療に取り組みます。  
 またこれまでのとりくみとして地域の開業医さまや訪問看護ステーションと連携し、がん・非がん患者さまの病取り支援、訪問リハビリ、医療依存度の高い患者さまのレスレス入院などで在宅療養の支援を行っております。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか?  はい  いいえ
- (はいの場合) 施設名称: 訪問看護ステーションそよかぜ、はるかぜ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能制小、機能制中等) について記入してください。  
 同法人に2訪問看護ステーションがあります。これらの訪問看護、急病、急変時においてはシームレスに外来診療、入院につなげています。また地域の訪問看護ステーションとも連携し、急病救急対応を行っております。  
 2022年度中に広陵地区に新たな訪問看護ステーション等在宅医療の拠点を作ります。また近接すること診療所と連携し、小児在宅医療についても検討しています。

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか?  定めている  定めていない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能制小、機能制中等) について記入してください。  
 当院は併設の老人保健施設や在宅療養支援を行う法人内の関連診療所の後方支援病院、中和地区の在宅療養支援病院、地域高齢者の急病受け入れなどの役割を担っています。  
 2018年6月には「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関する指針」を定め、訪問診療、外来、入院時に指針に基づいた患者家族への説明と話し合いをすすめる、治療方針に反映させています。今後さらに意思決定プロセスが分かりやすくなるよう整備を進めていく予定です。  
 また患者の意思決定を支援するとりくみとして地域での啓発活動や職員研修をすすめます。

⑨ 小児医療

- 当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- 小児入院医療管理料の算定  している  していない
- 新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 (再掲)  参加している  参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能制小、機能制中等) について記入してください。  
 近接診療所として小児科の診療所 (土庫こども診療所) を併設し、入院患者を受け入れております。少子化による患者減が続いており、小児科単科の診療所としての存続は困難になってきています。近い将来、単科としてではなく病棟の小児科もしくは近接診療所と合併して小児科の存続を行います。ただし小児救急は担当病棟も少なく、今後も小児科に積極的に参加してまいります。また実施体制が整えば、小児の外来リハを積極的にすすめていく予定です。  
 また病児保育所を併設しており、働く世代の子育てを応援します。



⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・分娩の取扱い  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  はい  いいえ  対応していない  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・情報共有や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
この領域においては対応しておりません。また今後対応の予定はありません。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ  参加していない  参加していない
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ  参加していない  参加していない
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ  参加していない  参加していない
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・情報共有や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
大和高田市においては、災害拠点病院の大和高田市立病院と連携し、災害時の入院患者を収容する施設となっています。

自家発のほか、ガスコーゼエネレーションシステムを装備しており、災害時に停電しない災害に強い施設となっています。これを活かして災害時には阪神大震災や東日本大震災の災害支援の経験を活かす、積極的に災害医療の一翼を担います。

これまでも大規模災害訓練をDMATともに実施しています。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・情報共有や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
当該領域においては対応しておりません。

対応する予定は今後ありません。  
当院は中和地域にあるため、南和地域などからの患者さんの紹介があります。南和医療センターなどと連携し、患者の紹介があれば積極的に対応いたします。

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・情報共有や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
当院は基幹型臨床研修病院であり、2021年度は6名の初期研修医を受け入れています。今年度のマッチングも定数が埋まっています。引き続き臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、人権を尊重し、安全・安心の医療・介護を担う医師養成を行います。

医師専門研修では総合診療分野において病院と同一法人診療所で二つの基幹型プログラムを保有しており、複数の専攻医を受け入れています。また2022年度より内科の基幹型を取得しています。外科、救急科も連携施設になっており、中小病院の特色を生かした専門研修で常に複数の専攻医を受け入れています。

また当院には病理医が常勤で勤務しており、大和高田市立病院などと連携し術中迅速診断などの協力をしています。また常勤麻酔医が奈良医大に指導医として赴いています。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ  対応していない  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・情報共有や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

2020年から発生したコロナ感染症について、2020年5月から疑似症病棟を持っています。また2021年5月から重点医療機関としてコロナ患者の受入を行っています。

当院にはICDが勤務しています。また感染対応の専任の看護師を医療安全感染管理部に配置しており、今後ICNの養成を行っていきます。

また当院ではコロナ感染症が蔓延した当初から専門の部署を立ち上げコロナ対応をおこなっています。臨入室などの設備がなかったため、随時的に施設改修を行って対応しています。

今後起こりえる新興感染症については、感染症専用の臨入室がないことや、病棟のフロア構成などの問題で新興感染症をいち早く担う医療機関にはなりにくいですが、感染対策の方策が一定であればICDや感染専門看護師が対応できるため当院での患者受入は可能であると考えています。またコロナ禍のように受入医療機関が少なく病床が逼迫する事態となれば、協力する用意があります。



1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は平成14年開院時より一般急性期病院80床として診療を行ってきたが、今後の地域の医療ニーズを踏まえ、2018年6月より一般病床12床を地域包括ケア病床に転換した。「断らない病院」として、80床の小規模病院としての救急体制としては橿原地区・葛城地区の2次救急輪番体制に参加しており、月・火・土に地域の内科・外科2次救急患者の受け入れを行っている。また消防のE-MATCHや重症腹症のネットワークにも参加している。

在宅患者や介護施設入所者の急変対応やレスパイト入院も積極的に受け入れており、近隣の開業医・介護施設・訪問看護ステーション等との連携を強化している。当院としては地域の医療ニーズに柔軟に対応できる医療提供を行っていきたいと考えている。

このことを踏まえて2025年に向けた対応方針として、2階重症急性期病床35床、3階慢性期病床（現在は軽度急性期病床と地域包括ケア病床の混在）45床に編成する予定である。病棟により病棟機能を明確に分けていく。「面倒見のいい病院」として、2019年5月に地域包括ケア病床を16床に増床し、さらに20床に増床を予定している。今後も段階的に増床していく方針である。地域連携室の機能強化し、退院支援と調整・ケアマネジャーとの連携を図る。リハビリテーションの施行、嚥下機能評価（嚥下内視鏡）医師、嚥下訓練看護師が在籍して摂食訓練が出来て、近隣の中井歯科医院との連携も行っている。2021年6月に居宅事業所まっしるケアプラセンターを開設。2021年8月に訪問診療の届け出を行った。将来訪問看護、訪問リハビリテーションの実施を予定している。また消化器疾患や生活習慣病の予防する検診事業も検討している。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割、機能ができるときから明らかなるようご説明ください。

当院では消化器疾患の診断から治療（緊急内視鏡を含む）、緊急手術を24時間体制で行っている。また脳疾患・心臓疾患・整形外科手術後患者のリハビリテーション等の入院加療を地域包括ケア病床を中心に行っている。

現在橿原地区・葛城地区の2次救急輪番に参加していることで様々な疾患の患者が運ばれて来る。迅速に初期診断を行い、当院で緊急対応出来ない脳疾患・心臓疾患・整形外科疾患に関する場合は連携病院へ搬送するようにしている。また精神科病院からの精神疾患・認知症患者の緊急治療症例は積極的に治療し紹介の医療機関へ逆紹介しているが、紹介以外患者の場合は、治療後の精神科病院・認知症専門病院への転院が困難な状況が続いている。

# 医療法人社団憲仁会中井記念病院

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和3年12月作成

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について  
 ※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

緊急を要する脳疾患は、福原地区2次輪番の場合は平成記念病院・奈良県立医科大学附属病院への連携、葛城地区2次輪番の場合は奈良県立医科大学附属病院への連携が決まっている。上記以外の疾患については地域連携室の機能強化を図り、他医療機関との連携を強めている。整形外科疾患は吉本整形外科・外科病院、脳疾患は南奈良総合医療センター・奈良県立医科大学附属病院脳外科、精神疾患・認知症は万葉クリニック・秋津鴻池病院、心臓疾患は大和橿原病院・奈良県立医科大学附属病院循環器内科へ紹介している。今後も地域の医療機関等で調整会議を開催し、密接な関係作りを行っていきたいと考えている。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休養中 (今後再開する予定)		休養中 (今後廃止する予定)		(合計)		(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数		
	0	0	35	35	45	45	0	0	0	0	0	0	80	80	0	0
精神病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	35	35	45	45	0	0	0	0	0	0	80	80	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・手術の実施  対応している  対応していない
- ・化学療法の実施  対応している  対応していない
- ・放射線治療の実施  対応している  対応していない
- ・拠点病院等の指定  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  対応している  対応していない
- ・心疾患に対する外科手術の実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- ・脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- ・開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応  対応している  対応していない
- ・血栓除去術等の脳血管内手術  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在橿原地区2次輪番（内科）と葛城地区2次輪番（内科・外科）へ週3日参加している。今後は応需率を高め85%を目指している。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数=）  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

訪問リハビリの稼働に向けて院内で検討中。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無  あり  無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無  あり  無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
訪問診療を届け出するも新型コロナウイルス流行により実行出来ず。流行が収まれば進める。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- （はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
訪問診療の稼働後に開設に向けて検討中。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。





1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

御所市における公的基幹病院であり、地域住民からも市民病院的な位置づけとして長く認知されている。しかし、当院の機能（常勤医師は内科・外科・整形外科のみ）に限られていることや周辺環境から考えると、「面倒見のいい病院」としての役割が明確になっている。地域住民が安心して暮らせるように地域包括ケアシステムの充実を図ることを目的に、訪問看護ステーションも開設しており、今後は周辺の高度急性期病院等との連携を深め、後方支援もしっかり行っていきたい。

## 具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときは、相手が明らかなるようご説明ください。

高度急性期医療および常勤医師（内科・外科・整形外科）のいない診療科での入院を伴う症例には現状対応できないため、周辺の高度急性期病院等との連携が必要である。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかなるようにご説明ください。

- 令和元年11月に奈良県立医大と整形外科において連携強化の申合せを行っているが、今後は奈良県立医大の他診療科、南奈良総合医療センター、大和高田市立病院との連携を強化していく。
- 在宅診療とのパイプ役として訪問看護ステーションを開設しており、自院のみならず、地域の診療所との協力も行っていく。

※行が足りない場合は適時、行を挿やしてください。複数枚になっても結構です。

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7年度>	
	(a)許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
一般病床	高度急性期					
	重症	82				-82
療養病床	急性期	49	95	84	95	46
	回復期	36	72	72	72	36
療養病床	慢性期			0	0	0
	休養中 (今後再開する予定)			25	0	-25
療養病床	休養中					0
	休養中 (今後廃止する予定)					0
	(合計)	192	167	156	167	-25
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~②の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
※行が足りない場合は適時、行を追加してください。複数記入になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

手術の実施  肺、呼吸器  消化器  乳腺  泌尿器、生殖器  対応していない

化学療法の実施  対応している  対応していない

放射線治療の実施  対応している  対応していない

拠点病院等の指定  がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

現在行っている手術療法、化学療法については、継続して対応していく。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  対応している  対応していない

心疾患に対する外科手術の実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

医師を含めスタッフや機材がなく、対応困難である。奈良医大や大和福原病院と連携している現状を維持していく。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？  はい  いいえ

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない

脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない

開頭血腫除去術  対応している  対応していない

脳出血（くも膜下出血を含む）への対応  対応している  対応していない

血栓除去術等の脳血管内手術  対応している  対応していない

脳血管疾患等への早期リハビリの実施  対応している  対応していない

奈良県脳卒中地域連携バスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

脳神経外科が非常勤医師であり、現在当院での入院対応ができない。脳卒中領域では、脳外科対応が必要ではないかかっけ患者の診療を行っているが、今後も継続していく。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- 病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

昼間は現状どおり積極的な受入を行う。夜間は1科当直であり限定的な対応となるが、地域医療を守るためにも現体制を維持する。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数=床）  無し
- 訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- 通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

訪問看護でのリハビリ対応も開始しており、訪問について継続して対応する。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- 訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

地域の診療所の在宅医療の状況も見ながら連携を進めるとともに、施設との連携も行い、積極的な取組みを進める。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- （はいの場合 施設名称：済生会御所病院訪問看護ステーションあまね）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

令和2年3月に訪問看護ステーションを開設して、徐々に患者数も増えている。地域包括ケアシステムの充実を図るためにも、地域の診療所との連携により、規模の拡充を目指す。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

ACPを推進するスタッフの育成が課題として捉えており、育成への取組みを進めていく。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

医師不足により小児科を廃止した経緯があり、今後も対応は困難である。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

医師不足により産科を廃止した経緯があり、今後も対応は困難である。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

人的・物的資源に限られているため、積極的な災害医療対応は困難である。但し、災害拠点病院との密接な連携を行い、有事には後方支援等、現状病院機能を活かした対応を行う。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

近隣の南奈良総合医療センターが機能を有しているため、当院で取組みは行わない。

⑬医師の研修・派遣機能(臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

全体的に医師不足であり、対応は困難であるが、研修の一部機能を受け持つ等の協力は行っていく。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか?(重点医療機関か?) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

今回重点医療機関として設備および体制整備も行ったため、今後、新興感染症等の拡大時には、積極的に対応する。

# 医療法人鴻池会 秋津鴻池病院

## 地域医療構想における 具体的対応方針

病院名：医療法人鴻池会秋津鴻池病院 医療圏：中和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟の3病棟を有し、「地域の方の自立を支援する」を理念に病床機能報告制度開始以前より当院の役割は回復期機能と考え「在宅復帰を目指すのリハビリテーション」「認知症医療」に力を注ぎ日本医療機能評価機構より、リハビリテーション病院・慢性期病院として認定を受け、更新する事で更なる質の向上に取り組んでいる。

地域医療構想に於いても在宅復帰を目指してのリハビリテーションを多職種で、チーム医療を実践し地域に於ける回復期機能を担う病院として連携していきたい。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

70名を超えるリハビリスタッフ（PT・OT・ST）が365日（朝リハビリ5日/週・夕リハビリ2日/週）リハビリを提供し、認知症ケア加算1のチームや看護、栄養、ソーシャルワーカー等の多職種で在宅復帰の支援を目指し、訪問看護、訪問リハビリや介護保険事業者、ケアマネジャーと連携を密にし在宅療養を支援している。

当院は、回復期機能を担う病院として急性期病院からの受入、在宅や施設で療養中の方の急性増悪の受入等を行い面倒見の良い病院として在宅復帰支援や介護保険サービスとの連携を行っている。

コロナ感染症治療後でリハビリや入院療養が必要な患者さんを受け入れる後方支援病院として、コロナ感染症受入病院と連携している。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

入退院情報を地域連携室（当院では医療相談課の名称）に集中させ、受入、送り出し状況を常に把握出来る状態にしている。中南和の各病院連携室に当院診療実績等を発信し連携を依頼すると共にケアマネジャー、介護事業者と勉強会を開き、面倒見の良い病院として療養支援出来る体制を構築している。

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

	(a) 許可病床数		(b) 許可病床数		最大使用病床数
	<H28年度>	<R3年度>	<R7/2026年度>	<R9年度>	
一般病床	高度急性期				
	重症				
	軽症				
	回復期	79	79	0	68
療養病床	慢性期	42	42	0	42
	休養中				
	(今後再開する予定)				
病床	休養中				
	(今後廃止する予定)				
	(合計)	121	121	0	110
精神病床		423	423	0	334
介護医療院				0	0

(b) 将来 (R7/2026年度)	(b-a) H28年度からの増減
	0
	0
	0
79	0
42	0
	0
121	0
423	0
	0

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は薄紙、行を追加してください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか? はい
- 手術の実施 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、生殖器 いいえ
  - 化学療法の実施 対応している
  - 放射線治療の実施 対応している
  - 拠点病院等の指定 対応している
- がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院 地域がん診療連携支援病院  
 今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

回復期を担う病院として、がん診療病院等で診断、治療方針等が決定した後の療養を担当する事で連携して行きたい。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか? はい
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している
  - 心疾患に対する外科手術の実施 対応している
- 今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

回復期を担う病院として、急性期治療後のリハビリテーションの提供で連携して行きたい。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか? はい
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
  - 脳動脈クレンジング術 対応している
  - 閉頭血腫除去術 対応している
  - 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している
  - 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している
  - 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している
  - 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している
- 今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

回復期を担う病院として、急性期治療後のリハビリテーションの提供で連携して行きたい。また、精神症状を呈した場合精神科病床の受入も検討出来る。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- (はいの場合 施設名称：御所訪問看護ステーション)

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

身体領域の訪問看護、訪問リハビリは同一法人内の事業所よりサービスを提供し、精神領域・認知症領域の訪問看護は病院の看護師、作業療法士がサービスを提供する事で鴻池会として在宅療養を支援している。

⑧ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

「人生の最終段階における医療・ケアに関する指針」を作成し、新規入院患者に対し「意思確認書」に記入していただいている。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 (再掲)  参加している  参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

南和周辺地区病院群輪番制に内科領域担当として、奈良県精神科救急医療システムに精神科輪番として参加。現状を維持して行きたい。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り (病床数=39床)  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

回復期を担う病院として、急性期治療後の患者を受け入れ、在宅復帰を目指し疾患別リハビリテーションを提供すると共に訪問看護、訪問リハビリと連携し在宅療養を支援する

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施 (再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

訪問看護、訪問リハビリで地域の先生方に協力し、在宅療養を支援している。また、在宅療養中に急性増悪した患者さんの受入を行っている。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

精神科領域の災害医療について対応している。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

へき地（下北山村）が実施する介護予防教室等に講師を派遣する事で支援を行っている。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

精神科領域の協力型臨床研修病院として4つの基幹型臨床研修病院と連携している。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

新型コロナウイルス感染症治療後でリハビリの提供や継続療養が必要な患者さんを受け入れる後方病院の役割を担う事で、コロナウイルス感染症受入医療機関と連携を行う。